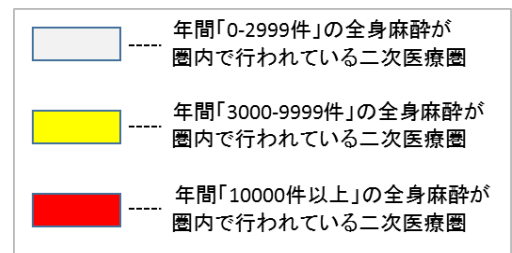
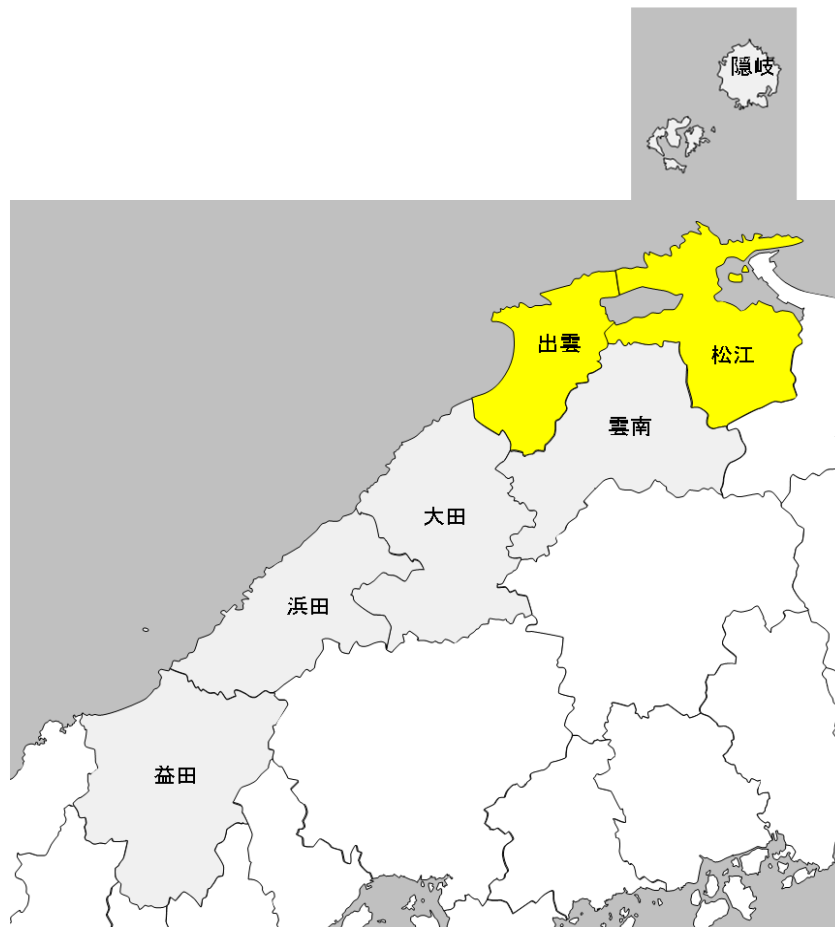


# 32. 島根県

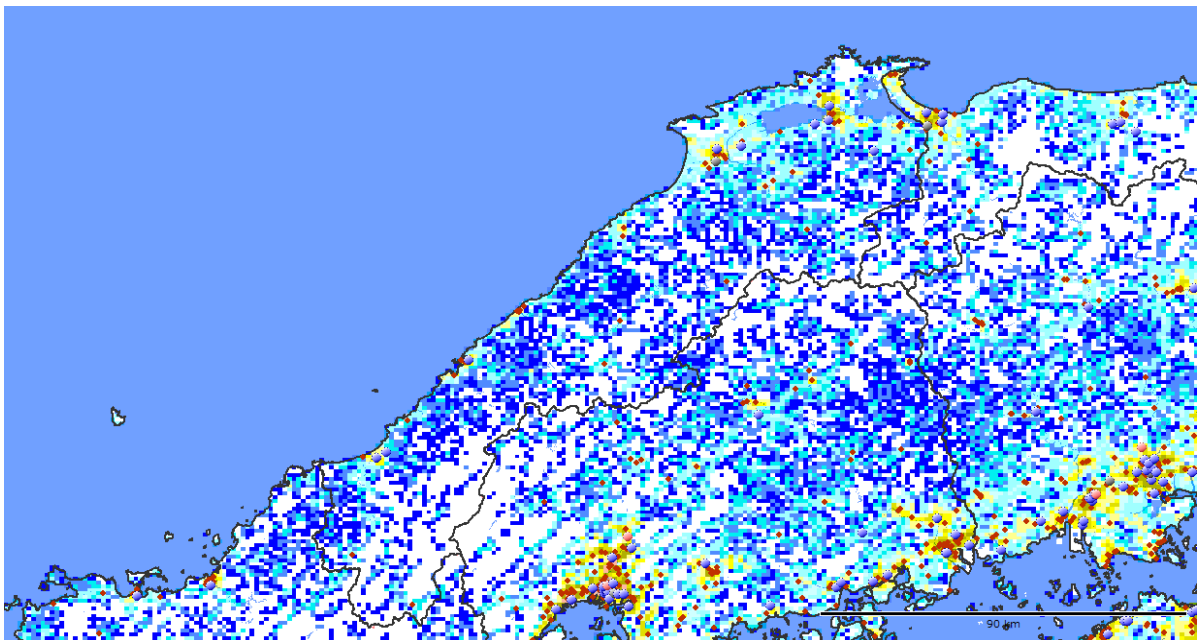


目次

島根県	32	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	32	-	8
1. 松江医療圏	32	-	20
2. 雲南医療圏	32	-	25
3. 出雲医療圏	32	-	30
4. 大田医療圏	32	-	35
5. 浜田医療圏	32	-	40
6. 益田医療圏	32	-	45
7. 隠岐医療圏	32	-	50

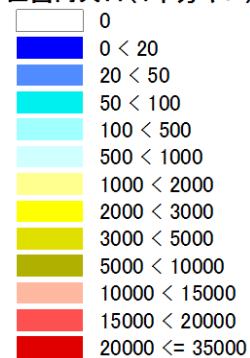
# 32. 島根県

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS  
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



## (島根県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 島根県は、総人口約694千人(2015年)、面積6,708km<sup>2</sup>、人口密度は104人/km<sup>2</sup>である。

\*人口の将来予測： 島根県の総人口は2025年に643千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に558千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の123千人が、2025年にかけて139千人へと増加し(2015年比+13%)、2040年には134千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 島根県の一人当たり医療費(国保)は442千円(偏差値70)、介護給付費は313千円(偏差値67)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 島根県の一人当たり急性期医療密度指数は1.34、一人当たり慢性期医療密度指数は1.26で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が54(病院医師数54、診療所医師数53)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は57と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は58で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は50と全国平均レベルである。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は52と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は63で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 島根県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、13,380人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が8,422床(偏差値56)、高齢者住宅等が4,958床(偏差値48)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、11,049人(75歳以上1,000人当たりの偏差値60)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム43、軽費ホーム53、グループホーム57、サ高住49である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1,359人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+6%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

## 2. 推移

### 【人口と医療需要】

島根県の総人口は、2005年742,223人が、2015年に694,352人と6%減少し、2025年の人口が642,787人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

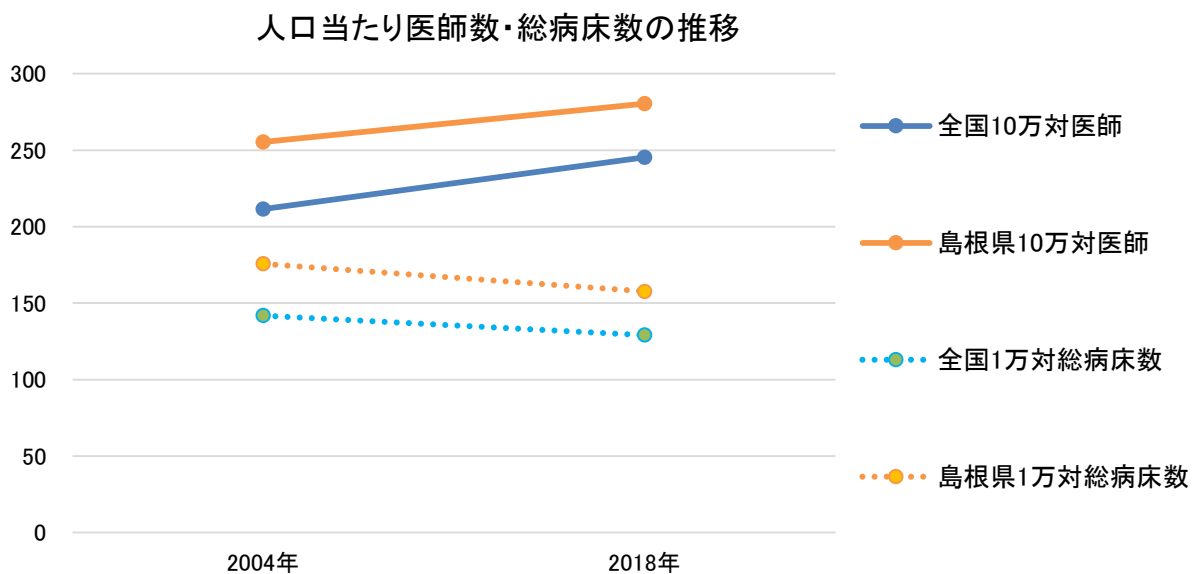
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が59(人口10万人当たり7.9病院(全国平均7.1)偏差値52)であったが、2018年に49(人口10万人当たり7.1病院(全国平均6.6)偏差値51)となり、14年間で10病院が減少した。

2004年の診療所数が770(人口10万人当たり104診療所(全国平均76)偏差値64)であったが、2018年に723(人口10万人当たり104診療所(全国平均80)偏差値63)と、47診療所が減少した。

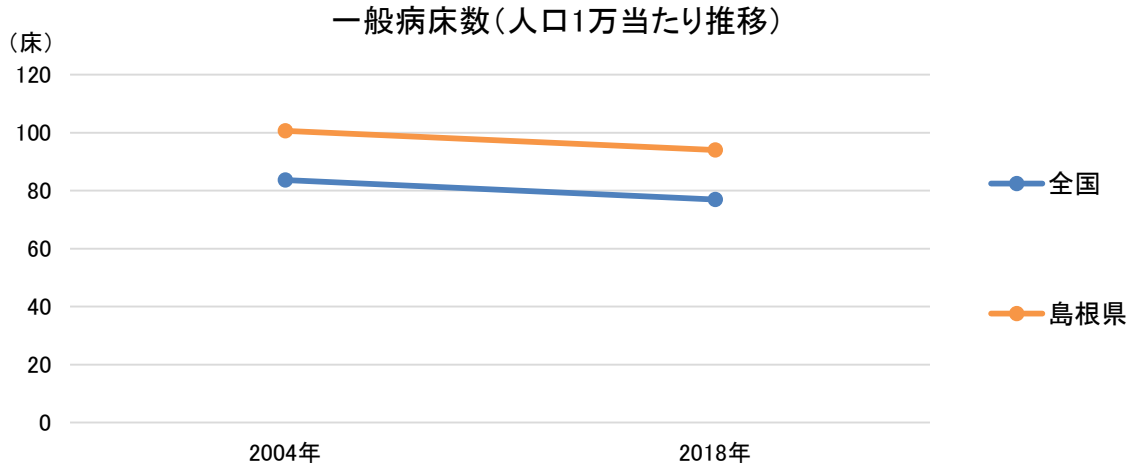
2004年の総病床数が13,046床(人口1万人当たり176(全国平均142)偏差値56)であったが、2018年に10,950床(人口1万人当たり158(全国平均129)偏差値55)と、2,096床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,895人(人口10万人当たり255人(全国平均212人)偏差値55)であったが、2018年に1,947人(人口10万人当たり280人(全国平均245人)偏差値54)と、52人の増加、率にして3%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



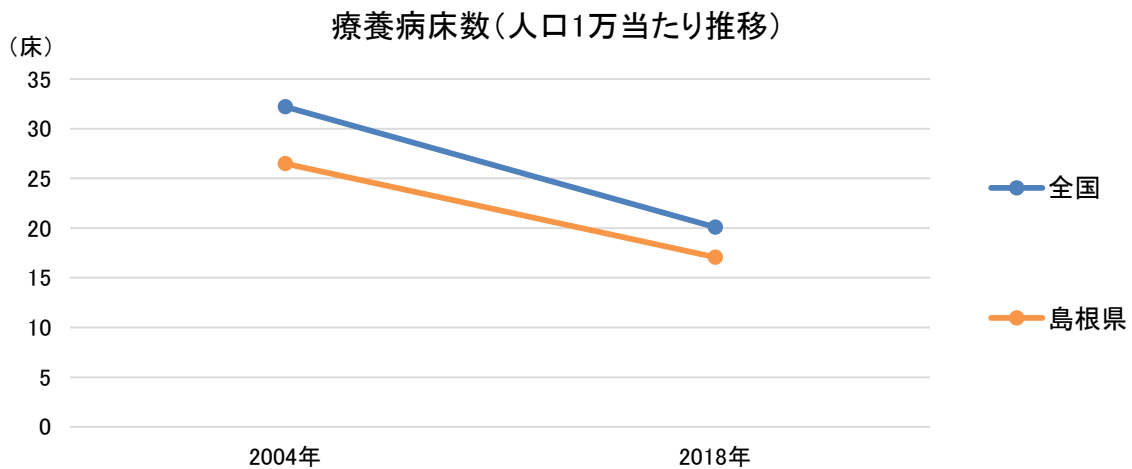
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7,471床(人口1万人当たり101(全国平均84)偏差値56)であったが、2018年に6,530床(人口1万人当たり94(全国平均77)偏差値57)と、941床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



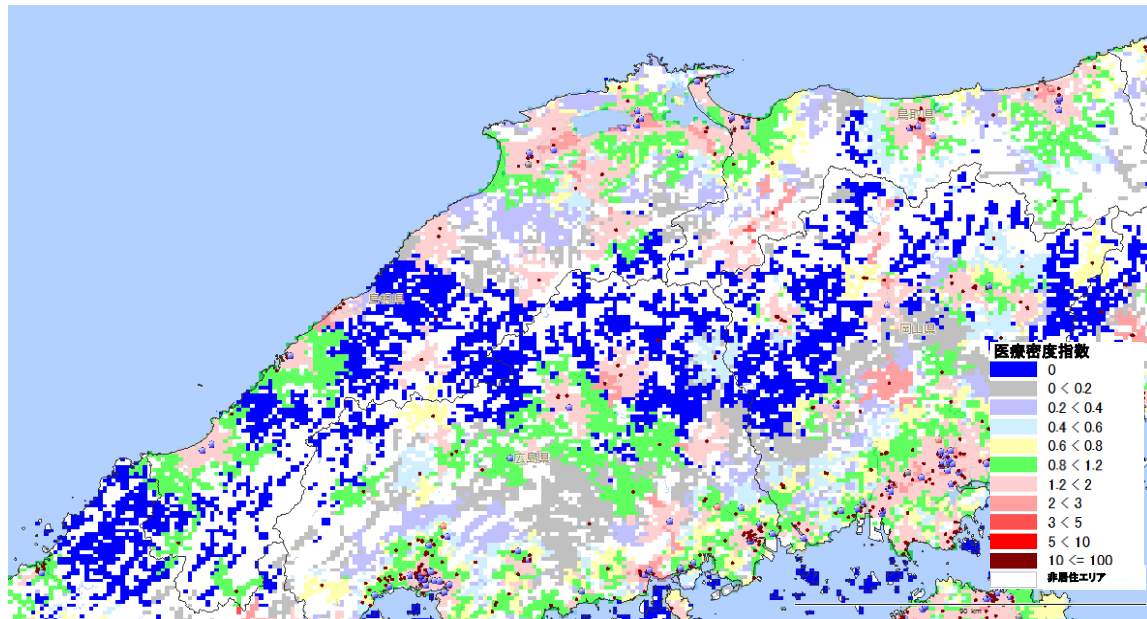
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2,776床(75歳以上1,000人当たり26(全国平均32)偏差値47)であったが、2018年に2,097床(75歳以上1,000人当たり17(全国平均20)偏差値47)と、679床の減少、率にして24%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



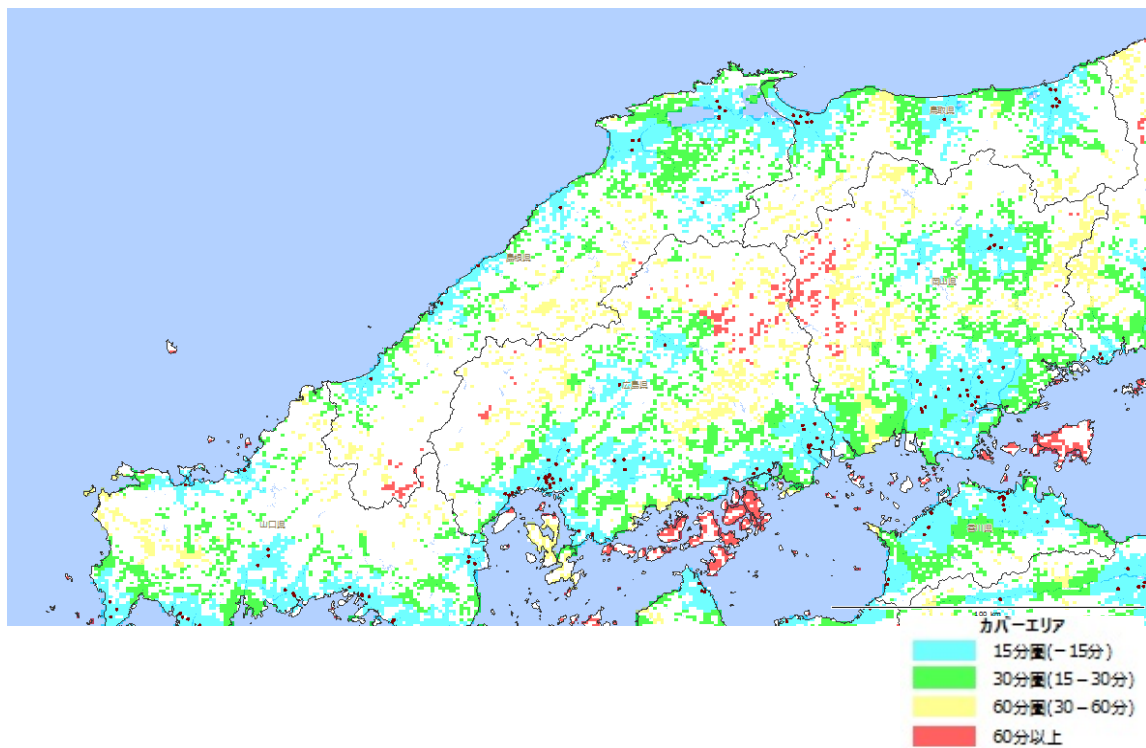
## (島根県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表32-1 急性期医療密度指数マップ



図表32-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資\_図表 32-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
島根県	694	46位	6,708	19位	103.5		32%	643	558	123	139	134	-7%	-13%	13%	-4%
松江	246	35%	994	15%	247.3	地方都市型	29%	233	209	38	47	48	-5%	-10%	24%	2%
雲南	57	8%	1,164	17%	49.1	過疎地域型	38%	48	36	13	13	12	-16%	-25%	0%	-8%
出雲	172	25%	624	9%	275.4	地方都市型	29%	170	162	27	32	33	-1%	-5%	19%	3%
大田	55	8%	1,244	19%	43.9	過疎地域型	40%	46	34	13	13	11	-16%	-26%	0%	-15%
浜田	83	12%	959	14%	86.1	過疎地域型	35%	73	60	16	17	14	-12%	-18%	6%	-18%
益田	62	9%	1,377	21%	44.8	過疎地域型	37%	54	43	13	14	12	-13%	-20%	8%	-14%
隠岐	21	3%	346	5%	59.6	過疎地域型	39%	18	14	5	5	4	-14%	-22%	0%	-20%

出典 <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月  
<人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月  
<面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月

資\_図表 32-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2019年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,499,244	1,772,098	-18.2%
島根県	1.34	1.26	11,860	11,163	5.9%
松江	1.83	1.36	3,703	3,730	-0.7%
雲南	1.13	1.23	1,026	1,083	-5.6%
出雲	1.17	1.31	2,694	2,468	8.4%
大田	0.82	1.24	1,217	1,044	14.2%
浜田	1.25	1.90	1,541	1,333	13.5%
益田	0.90	3.02	1,251	1,101	12.0%
隠岐	0.50	0.69	428	405	5.4%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375) )  
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2019年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。



資\_図表 32-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	356	(44)	1.000	139	(31)	1.000	192	(17)	1.000	255	(34)
島根県	442	70	1.145	197	69	1.322	221	67	1.050	313	67
松江	431	67	1.114	194	68	1.281	213	62	1.014	302	64
雲南	459	74	1.130	216	75	1.358	219	66	0.998	290	60
出雲	422	65	1.094	175	62	1.162	225	69	1.077	306	65
大田	476	77	1.172	218	75	1.370	234	74	1.066	344	76
浜田	502	83	1.220	224	77	1.392	254	86	1.140	355	80
益田	424	66	1.041	194	68	1.216	205	57	0.927	294	62
隠岐	409	62	0.996	191	67	1.187	196	52	0.883	331	72
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資\_図表 32-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	929	(120)	1.000	466	(100)	1.000	429	(38)	1.000
島根県	917	49	0.973	488	52	1.011	403	43	0.946
松江	932	50	0.983	508	54	1.050	395	41	0.919
雲南	898	47	0.948	511	54	1.029	363	33	0.869
出雲	910	48	0.957	467	50	0.956	419	48	0.975
大田	901	48	0.936	472	51	0.933	407	44	0.960
浜田	955	52	1.019	480	51	0.989	449	55	1.073
益田	943	51	0.993	521	55	1.061	395	41	0.927
隠岐	718	33	0.758	362	40	0.737	336	26	0.796
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資\_図表 32-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,372		6.6	(3.9)	102,105		80	(19.0)
島根県	49	0.6%	7.1	51	723	0.7%	104	63
松江	14	29%	5.7	48	250	35%	102	61
雲南	5	10%	8.8	55	49	7%	86	53
出雲	11	22%	6.4	50	165	23%	96	58
大田	4	8%	7.3	52	72	10%	132	77
浜田	8	16%	9.7	58	94	13%	114	68
益田	5	10%	8.1	54	73	10%	118	70
隠岐	2	4%	9.7	58	20	3%	97	59
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資\_図表 32-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	102,105		80	(19.0)	95,171		75	(18.9)	6,934		5.5	(5.8)
島根県	723	0.7%	104	63	681	0.7%	98	62	42	0.6%	6.0	51
松江	250	35%	102	61	234	34%	95	61	16	38%	6.5	52
雲南	49	7%	86	53	49	7%	86	56	0	0%	0	41
出雲	165	23%	96	58	155	23%	90	58	10	24%	5.8	51
大田	72	10%	132	77	66	10%	121	74	6	14%	11.0	60
浜田	94	13%	114	68	85	12%	103	65	9	21%	10.9	59
益田	73	10%	118	70	72	11%	117	72	1	2%	1.6	43
隠岐	20	3%	97	59	20	3%	97	62	0	0%	0	41
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資\_図表 32-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,546,554		1,217	(476)	94,853		75	(91)	1,641,407		1,291	(530)
島根県	10,450	0.7%	1,505	56	500	0.5%	72	50	10,950	0.7%	1,577	55
松江	3,740	36%	1,522	56	178	36%	72	50	3,918	36%	1,594	56
雲南	684	7%	1,197	50	0	0%	0	42	684	6%	1,197	48
出雲	2,711	26%	1,577	58	104	21%	60	48	2,815	26%	1,637	57
大田	728	7%	1,333	52	72	14%	132	56	800	7%	1,465	53
浜田	1,377	13%	1,668	59	127	25%	154	59	1,504	14%	1,821	60
益田	1,051	10%	1,702	60	19	4%	31	45	1,070	10%	1,733	58
隠岐	159	2%	772	41	0	0%	0	42	159	1%	772	40
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 32-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	890,712		701	(223)	319,506		251	(200)	329,692		259	(209)
島根県	6,077	0.7%	875	58	2,050	0.6%	295	52	2,277	0.7%	328	53
松江	2,381	39%	969	62	437	21%	178	46	904	40%	368	55
雲南	397	7%	695	50	183	9%	320	53	100	4%	175	46
出雲	1,634	27%	950	61	611	30%	355	55	460	20%	268	50
大田	378	6%	692	50	178	9%	326	54	168	7%	308	52
浜田	589	10%	713	51	376	18%	455	60	408	18%	494	61
益田	587	10%	951	61	241	12%	390	57	215	9%	348	54
隠岐	111	2%	539	43	24	1%	116	43	22	1%	107	43
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資\_図表 32-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数				地域包括 ケア 病床数			
	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	79,543		63	(71)
島根県	588	0.7%	85	55	918	1.2%	132	60
松江	253	43%	103	58	296	32%	120	58
雲南	30	5%	53	48	81	9%	142	61
出雲	156	27%	91	56	138	15%	80	52
大田	55	9%	101	58	148	16%	271	79
浜田	50	9%	61	49	120	13%	145	62
益田	44	7%	71	52	101	11%	164	64
隠岐	0	0%	0	36	34	4%	165	64
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				令和元年6月地方厚生局			

資\_図表 32-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	440,405	392,862	15,873	1,086,693	494,667	292,291	44.3%	(27%)	5.2%	(22%)
島根県	5,496	4,626	427	4,654	1,328	1,478	77.7%	63	22.4%	58
松江	1,806	1,651	46	1,772	638	343	72.1%	60	11.8%	53
雲南	455	329	122	215	60	55	84.6%	65	68.9%	79
出雲	1,641	1,295	52	1,054	329	559	79.7%	63	8.5%	52
大田	437	378	55	249	0	81	100.0%	71	40.4%	66
浜田	665	537	128	712	56	248	90.6%	67	34.0%	63
益田	333	325	0	652	245	192	57.0%	55	0.0%	48
隠岐	159	111	24	0	0	0	100.0%	71	100.0%	92
出典	地方厚生局指定一覧令和元年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資\_図表 32-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔 件数				分娩 件数			
	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,217,312		1,745	(819)	923,436		727	(264)
島根県	11,916	0.5%	1,716	50	5,460	0.6%	786	52
松江	5,196	44%	2,114	55	2,220	41%	903	57
雲南	276	2%	483	35	60	1%	105	26
出雲	3,852	32%	2,240	56	1,656	30%	963	59
大田	228	2%	418	34	300	5%	549	43
浜田	1,020	9%	1,235	44	612	11%	741	51
益田	1,128	9%	1,827	51	552	10%	894	56
隠岐	216	2%	1,048	42	60	1%	291	33
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資\_図表 32-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	311,963		245	(92)	208,127		164	(73)	103,836		82	(24)
島根県	1,947	0.6%	280	54	1,330	0.6%	192	54	617	0.6%	89	53
松江	614	32%	250	50	392	29%	160	49	222	36%	90	54
雲南	80	4%	140	38	49	4%	86	39	31	5%	54	38
出雲	796	41%	463	74	621	47%	361	77	175	28%	102	58
大田	98	5%	179	43	51	4%	93	40	47	8%	86	52
浜田	193	10%	234	49	114	9%	138	46	79	13%	96	56
益田	133	7%	215	47	80	6%	130	45	53	9%	86	52
隠岐	33	2%	160	41	23	2%	112	43	10	2%	49	36
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資\_図表 32-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	29,158		22.9	(11.4)	14,021		11.0	(4.9)	11,300		8.9	(4.1)
島根県	197	0.7%	28.4	55	86	0.6%	12.4	53	69	0.6%	9.9	53
松江	59	30%	24.0	51	29	34%	11.8	52	22	32%	9.0	50
雲南	15	8%	26.3	53	2	2%	3.5	35	2	3%	3.5	37
出雲	90	46%	52.3	76	35	41%	20.4	69	27	39%	15.7	67
大田	9	5%	16.5	44	5	6%	9.2	46	7	10%	12.8	60
浜田	14	7%	17.0	45	8	9%	9.7	47	5	7%	6.1	43
益田	9	5%	14.6	43	5	6%	8.1	44	4	6%	6.5	44
隠岐	1	1%	4.9	34	2	2%	9.7	47	2	3%	9.7	52
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 32-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,732		4.5	(2.2)	9,911		7.8	(3.2)	7,569		6.0	(2.7)
島根県	29	0.5%	4.2	49	53	0.5%	7.6	49	41	0.5%	5.9	50
松江	7	24%	2.8	43	21	40%	8.5	52	12	29%	4.9	46
雲南	2	7%	3.5	45	0	0%	0	26	2	5%	3.5	41
出雲	15	52%	8.7	69	16	30%	9.3	55	20	49%	11.6	71
大田	2	7%	3.7	46	3	6%	5.5	43	1	2%	1.8	35
浜田	2	7%	2.4	41	8	15%	9.7	56	3	7%	3.6	41
益田	1	3%	1.6	37	4	8%	6.5	46	3	7%	4.9	46
隠岐	0	0%	0	30	1	2%	4.9	41	0	0%	0	28
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 32-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,675		7.6	(3.7)	21,907		17.2	(7.1)	16,875		13.3	(4.6)
島根県	70	0.7%	10.1	57	128	0.6%	18.4	52	102	0.6%	14.7	53
松江	31	44%	12.6	64	40	31%	16.3	49	43	42%	17.5	59
雲南	2	3%	3.5	39	7	5%	12.3	43	4	4%	7.0	36
出雲	24	34%	14.0	67	61	48%	35.5	76	31	30%	18.0	60
大田	0	0%	0	29	2	2%	3.7	31	3	3%	5.5	33
浜田	7	10%	8.5	52	9	7%	10.9	41	13	13%	15.7	55
益田	5	7%	8.1	51	6	5%	9.7	39	6	6%	9.7	42
隠岐	1	1%	4.9	43	3	2%	14.6	46	2	2%	9.7	42
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 32-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,200		4.9	(2.2)	6,967		5.5	(2.5)	5,943		4.7	(3.2)
島根県	36	0.6%	5.2	51	34	0.5%	4.9	48	38	0.6%	5.5	53
松江	9	25%	3.7	44	13	38%	5.3	49	10	26%	4.1	48
雲南	2	6%	3.5	44	1	3%	1.8	35	0	0%	0	35
出雲	18	50%	10.5	76	13	38%	7.6	58	21	55%	12.2	74
大田	2	6%	3.7	44	2	6%	3.7	43	2	5%	3.7	47
浜田	2	6%	2.4	39	4	12%	4.8	47	1	3%	1.2	39
益田	2	6%	3.2	43	1	3%	1.6	34	4	11%	6.5	56
隠岐	1	3%	4.9	50	0	0%	0	28	0	0%	0	35
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 32-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,382		5.8	(3.3)	1,669		1.3	(1.0)	4,262		3.4	(2.1)
島根県	57	0.8%	8.2	57	9	0.5%	1.3	50	21	0.5%	3.0	48
松江	19	33%	7.7	56	3	33%	1.2	49	2	10%	0.8	38
雲南	0	0%	0	32	0	0%	0	37	2	10%	3.5	51
出雲	34	60%	19.8	92	4	44%	2.3	60	13	62%	7.6	70
大田	2	4%	3.7	43	0	0%	0	37	0	0%	0	34
浜田	1	2%	1.2	36	1	11%	1.2	49	4	19%	4.8	57
益田	0	0%	0	32	1	11%	1.6	53	0	0%	0	34
隠岐	1	2%	4.9	47	0	0%	0	37	0	0%	0	34
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 32-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ーション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,220		1.7	(1.3)	2,758		2.2	(1.5)
島根県	10	0.5%	1.4	48	18	0.7%	2.6	53
松江	6	60%	2.4	55	8	44%	3.3	57
雲南	0	0%	0	36	0	0%	0	35
出雲	4	40%	2.3	54	8	44%	4.7	67
大田	0	0%	0	36	0	0%	0	35
浜田	0	0%	0	36	2	11%	2.4	52
益田	0	0%	0	36	0	0%	0	35
隠岐	0	0%	0	36	0	0%	0	35
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資\_図表 32-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
島根県	7,741	0.7%	1,115	57	6,246	0.7%	900	57	1,495	0.7%	215	55
松江	2,610	34%	1,062	56	2,124	34%	864	56	486	33%	198	53
雲南	452	6%	791	46	360	6%	631	46	92	6%	161	48
出雲	2,294	30%	1,334	65	1,972	32%	1,147	67	322	22%	187	51
大田	479	6%	878	49	333	5%	609	45	147	10%	269	63
浜田	999	13%	1,210	61	740	12%	896	57	259	17%	313	69
益田	743	10%	1,203	61	594	10%	962	60	149	10%	241	59
隠岐	164	2%	797	46	123	2%	598	45	41	3%	199	53
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 32-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	薬剤師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	139,385		110	(57)	311,289		245	(103)
島根県	902	0.6%	130	54	1,377	0.4%	198	45
松江	398	44%	162	59	493	36%	201	46
雲南	50	6%	88	46	66	5%	116	37
出雲	207	23%	120	52	411	30%	239	49
大田	48	5%	87	46	80	6%	146	40
浜田	97	11%	118	51	172	12%	208	46
益田	90	10%	145	56	134	10%	217	47
隠岐	13	1%	65	42	21	2%	102	36
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資\_図表 32-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	施設数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,484		0.9	(0.4)	1,483		0.1	(0.1)	11,549		0.7	(0.2)
島根県	120	0.8%	1.0	52	8	0.5%	0.1	46	91	0.8%	0.7	51
松江	45	38%	1.2	57	3	38%	0.1	48	32	35%	0.9	56
雲南	6	5%	0.5	40	0	0%	0	37	7	8%	0.5	43
出雲	25	21%	0.9	51	1	13%	0.0	43	21	23%	0.8	54
大田	8	7%	0.6	44	1	13%	0.1	48	11	12%	0.9	57
浜田	24	20%	1.5	64	0	0%	0	37	11	12%	0.7	50
益田	9	8%	0.7	46	1	13%	0.1	48	6	7%	0.5	39
隠岐	3	3%	0.7	45	2	25%	0.4	98	3	3%	0.7	48
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和元年6月			

資\_図表 32-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,719,101		105	(17)	1,004,501		62	(12)	714,600		44	(16)
島根県	13,380	0.8%	109	52	8,422	0.8%	69	56	4,958	0.7%	40	48
松江	4,542	34%	121	59	2,422	29%	65	52	2,120	43%	57	58
雲南	1,090	8%	84	37	890	11%	69	56	200	4%	15	32
出雲	3,004	22%	113	54	1,642	19%	62	50	1,362	27%	51	55
大田	1,344	10%	106	50	1,000	12%	79	64	344	7%	27	39
浜田	1,615	12%	103	48	1,207	14%	77	62	408	8%	26	39
益田	1,357	10%	106	51	905	11%	71	58	452	9%	35	45
隠岐	428	3%	95	44	356	4%	79	64	72	1%	16	32
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 32-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
	施設定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	368,125		23	(6.0)	584,338		36	(9.9)	52,038		3.2	(3.8)
島根県	2,811	0.8%	23	51	5,367	0.9%	44	58	244	0.5%	2.0	47
松江	836	30%	22	50	1,558	29%	42	56	28	11%	0.7	44
雲南	191	7%	15	37	663	12%	51	66	36	15%	2.8	49
出雲	564	20%	21	48	1,078	20%	40	55	0	0%	0	42
大田	318	11%	25	54	640	12%	50	65	42	17%	3.3	50
浜田	480	17%	31	63	649	12%	41	56	78	32%	5.0	55
益田	352	13%	28	58	509	9%	40	54	44	18%	3.4	51
隠岐	70	2%	16	38	270	5%	60	74	16	7%	3.5	51
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 32-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	有料老人ホーム			軽費ホーム	軽費ホーム			グループホーム	グループホーム		
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	240,971		14.8	(10.9)	23,545		1.4	(2.1)	204,406		12.5	(5.7)
島根県	926	0.4%	7.5	43	249	1.1%	2.0	53	2,002	1.0%	16.3	57
松江	330	36%	8.8	45	52	21%	1.4	50	728	36%	19.4	62
雲南	10	1%	0.8	37	0	0%	0	43	126	6%	9.7	45
出雲	363	39%	13.6	49	77	31%	2.9	57	522	26%	19.6	62
大田	50	5%	3.9	40	0	0%	0	43	167	8%	13.2	51
浜田	127	14%	8.1	44	0	0%	0	43	207	10%	13.2	51
益田	46	5%	3.6	40	120	48%	9.4	87	180	9%	14.1	53
隠岐	0	0%	0	36	0	0%	0	43	72	4%	16.0	56
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 32-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	サ高住(全施設)			サ高住 (特定 施設)	サ高住(特定 施設)			サ高住 (非特定 施設)	サ高住(非特定 施設)			
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	245,678		15.1	(7.4)	25,821		1.6	(1.9)	219,857		13.5	(7.1)	
島根県	1,781	0.7%	14.5	49	261	1.0%	2.1	53	1,520	0.7%	12.4	48	
松江	1,010	57%	26.9	66	171	66%	4.6	65	839	55%	22.4	62	
雲南	64	4%	4.9	36	0	0%	0	42	64	4%	4.9	38	
出雲	400	22%	15.0	50	90	34%	3.4	59	310	20%	11.6	47	
大田	127	7%	10.0	43	0	0%	0	42	127	8%	10.0	45	
浜田	74	4%	4.7	36	0	0%	0	42	74	5%	4.7	38	
益田	106	6%	8.3	41	0	0%	0	42	106	7%	8.3	43	
隠岐	0	0%	0	30	0	0%	0	42	0	0%	0	31	
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計			令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの					令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				

資\_図表 32-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事 看護師数	介護施設			看護師数 (施設)	訪問看護			看護師数 (訪問)			
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差				
全国	174,893		10.7	(2.2)	119,205		7.3	(1.9)	55,688		3.4	(1.2)
島根県	1,399	0.8%	11.4	53	1,002	0.8%	8.2	55	397	0.7%	3.2	48
松江	449	32%	12.0	56	299	30%	8.0	53	151	38%	4.0	55
雲南	133	9%	10.3	48	108	11%	8.4	56	25	6%	1.9	37
出雲	274	20%	10.3	48	179	18%	6.7	47	95	24%	3.6	51
大田	151	11%	11.9	55	106	11%	8.4	56	45	11%	3.6	51
浜田	195	14%	12.4	58	143	14%	9.1	60	52	13%	3.3	49
益田	154	11%	12.1	56	131	13%	10.3	66	23	6%	1.8	36
隠岐	43	3%	9.5	45	35	4%	7.8	53	8	2%	1.7	36
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											



資\_図表 32-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設 等)				介護職員数 (在宅)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	1,513,115		93	(11.3)	1,294,087		79	(10.6)	219,028		13.4	(5.3)
島根県	12,408	0.8%	101	57	11,049	0.9%	90	60	1,359	0.6%	11.1	46
松江	3,846	31%	102	59	3,293	30%	88	58	553	41%	14.7	52
雲南	1,088	9%	84	42	1,011	9%	78	49	77	6%	5.9	36
出雲	2,937	24%	110	65	2,664	24%	100	69	273	20%	10.2	44
大田	1,260	10%	99	56	1,172	11%	92	62	88	6%	6.9	38
浜田	1,681	14%	107	62	1,453	13%	92	62	228	17%	14.5	52
益田	1,059	9%	83	41	965	9%	76	47	93	7%	7.3	38
隠岐	537	4%	119	73	491	4%	109	78	47	3%	10.4	44
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 32-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数				訪問介護 利用者数			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	1,228,040		75	(35)	552,189		34	(14)	1,116,943		68	(24)
島根県	9,268	0.8%	75	50	3,717	0.7%	30	47	6,891	0.6%	56	45
松江	2,333	25%	62	46	1,543	42%	41	55	2,820	41%	75	53
雲南	598	6%	46	42	269	7%	21	41	358	5%	28	33
出雲	1,888	20%	71	49	809	22%	30	48	1,390	20%	52	43
大田	1,621	17%	128	65	378	10%	30	47	538	8%	42	39
浜田	1,986	21%	126	64	523	14%	33	50	1,058	15%	67	49
益田	762	8%	60	46	153	4%	12	34	530	8%	42	39
隠岐	80	1%	18	34	42	1%	9	33	197	3%	44	40
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 32-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
島根県		742,223	694,352	-6%	642,787	-13%	3%	-1%	2%
松江	地方都市型	254,635	245,758	-3%	233,406	-8%	8%	3%	11%
雲南	過疎地域型	66,194	57,126	-14%	48,254	-27%	-5%	-8%	-12%
出雲	地方都市型	173,751	171,938	-1%	170,061	-2%	8%	5%	14%
大田	過疎地域型	63,882	54,609	-15%	45,910	-28%	-8%	-10%	-17%
浜田	過疎地域型	90,820	82,573	-9%	73,307	-19%	-1%	-6%	-7%
益田	過疎地域型	69,245	61,745	-11%	53,958	-22%	-1%	-5%	-6%
隠岐	過疎地域型	23,696	20,603	-13%	17,891	-24%	-5%	-4%	-9%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,居間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

資\_図表 32-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,372	6.6	(3.9)	-705	-8%
島根県	59	7.9	52	49	7.1	51	-10	-17%
松江	21	8.2	53	14	5.7	48	-7	-33%
雲南	5	7.6	51	5	8.8	55	0	0%
出雲	9	5.2	45	11	6.4	50	2	22%
大田	5	7.8	52	4	7.3	52	-1	-20%
浜田	11	12.1	63	8	9.7	58	-3	-27%
益田	6	8.7	54	5	8.1	54	-1	-17%
隠岐	2	8.4	53	2	9.7	58	0	0%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 32-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	102,105	80	(19)	5,054	5%
島根県	770	104	64	723	104	63	-47	-6%
松江	254	100	62	250	102	61	-4	-2%
雲南	58	88	56	49	86	53	-9	-16%
出雲	172	99	61	165	96	58	-7	-4%
大田	85	133	78	72	132	77	-13	-15%
浜田	101	111	68	94	114	68	-7	-7%
益田	73	105	65	73	118	70	0	0%
隠岐	27	114	69	20	97	59	-7	-26%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 32-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	311,963	245	(92)	41,592	15%
島根県	1,895	255	55	1,947	280	54	52	3%
松江	624	245	54	614	250	50	-10	-2%
雲南	97	147	42	80	140	38	-17	-18%
出雲	677	390	71	796	463	74	119	18%
大田	119	186	47	98	179	43	-21	-18%
浜田	186	205	49	193	234	49	7	4%
益田	151	218	51	133	215	47	-18	-12%
隠岐	41	173	45	33	160	41	-8	-20%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2018年>平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資\_図表 32-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,641,407	129	(53)	-171,147	-9%
島根県	13,046	176	56	10,950	158	55	-2,096	-16%
松江	4,880	192	59	3,918	159	56	-962	-20%
雲南	813	123	47	684	120	48	-129	-16%
出雲	2,772	160	53	2,815	164	57	43	2%
大田	992	155	52	800	146	53	-192	-19%
浜田	1,790	197	60	1,504	182	60	-286	-16%
益田	1,583	229	65	1,070	173	58	-513	-32%
隠岐	216	91	41	159	77	40	-57	-26%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 32-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	977,056	77	(26)	-91,765	-9%
島根県	7,471	101	56	6,530	94	57	-941	-13%
松江	2,712	107	58	2,544	104	60	-168	-6%
雲南	444	67	44	397	69	47	-47	-11%
出雲	1,800	104	57	1,738	101	59	-62	-3%
大田	547	86	51	450	82	52	-97	-18%
浜田	999	110	59	695	84	53	-304	-30%
益田	821	119	62	595	96	58	-226	-28%
隠岐	148	62	42	111	54	41	-37	-25%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 32-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

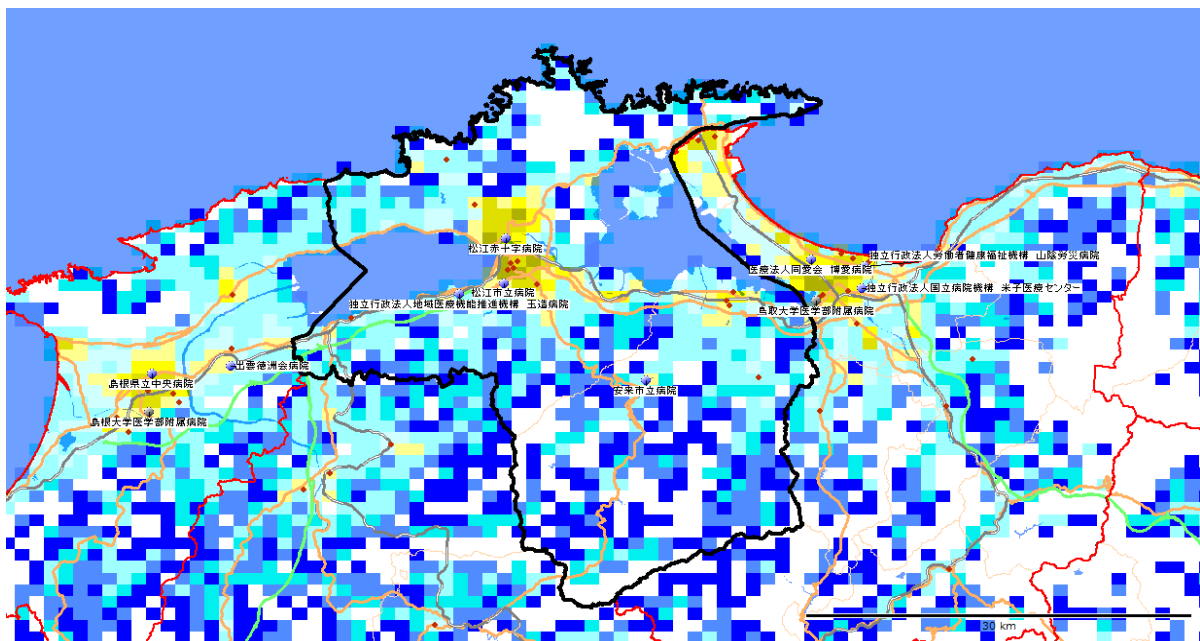
二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	328,015	20	(11)	-45,808	-12%
島根県	2,776	26	47	2,097	17	47	-679	-24%
松江	1,007	34	51	452	12	43	-555	-55%
雲南	215	18	42	183	14	45	-32	-15%
出雲	405	19	43	611	23	53	206	51%
大田	273	21	44	178	14	45	-95	-35%
浜田	317	22	44	397	25	55	80	25%
益田	535	48	59	252	20	50	-283	-53%
隠岐	24	5	35	24	5	37	0	0%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

# 32-1. まつえ 松江医療圏

構成市区町村 [松江市](#) [安来市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (松江医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 松江(松江市)は、総人口約246千人(2015年)、面積994km<sup>2</sup>、人口密度は247人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 松江の総人口は2025年に233千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に209千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の38千人が、2025年にかけて47千人へと増加し(2015年比+24%)、2040年には48千人へと増加する(2025年比+2%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 松江の一人当たり医療費(国保)は431千円(偏差値67)、介護給付費は302千円(偏差値64)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 松江の一人当たり急性期医療密度指数は1.83、一人当たり慢性期医療密度指数は1.36で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が50(病院医師数49、診療所医師数54)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにはほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は56と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は62で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は55とやや多い。松江には、年間全身麻酔件数が2000例以上の松江赤十字病院(Ⅲ群・救命)、1000例以上の松江市立病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値59と多く、回復期病床数は偏差値58と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は61で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 松江の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,542人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,422床(偏差値52)、高齢者住宅等が2,120床(偏差値58)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,293人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム45、軽費ホーム50、グループホーム62、サ高住66である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値57と多く、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員(在宅)の合計は、553人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-1%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

## (松江医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

松江医療圏の総人口は、2005年254,635人が、2015年に245,758人と3%減少し、2025年の人口が233,406人と予測され、2005年→2025年の間に8%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

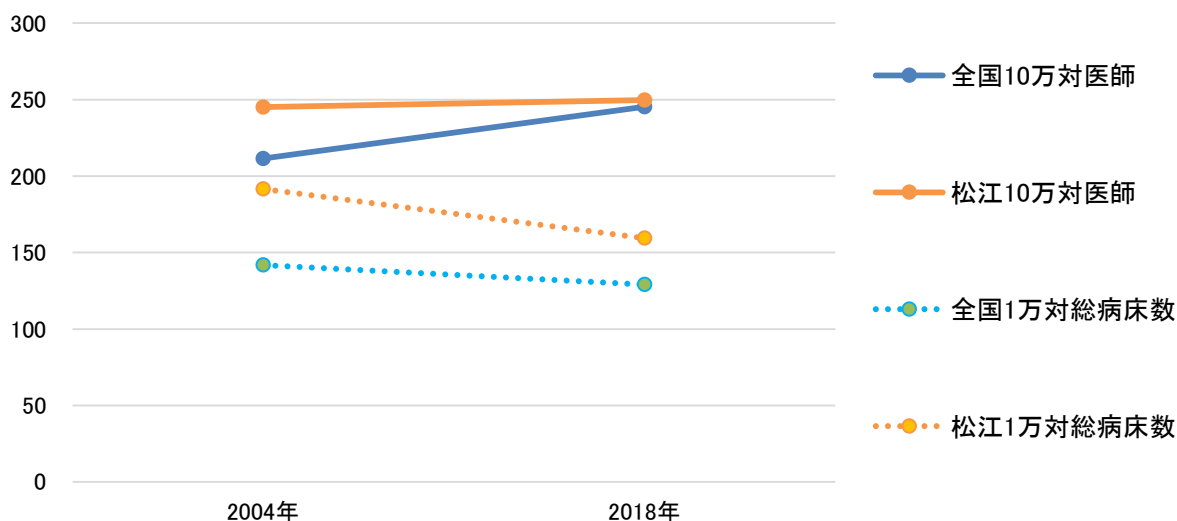
2004年の病院数が21(人口10万人当たり8.2病院(全国平均7.1)偏差値53)であったが、2018年に14(人口10万人当たり5.7病院(全国平均6.6)偏差値48)となり、14年間で7病院が減少した。

2004年の診療所数が254(人口10万人当たり100診療所(全国平均76)偏差値62)であったが、2018年に250(人口10万人当たり102診療所(全国平均80)偏差値61)と、4診療所が減少した。

2004年の総病床数が4,880床(人口1万人当たり192(全国平均142)偏差値59)であったが、2018年に3,918床(人口1万人当たり159(全国平均129)偏差値56)と、962床の減少、率にして20%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

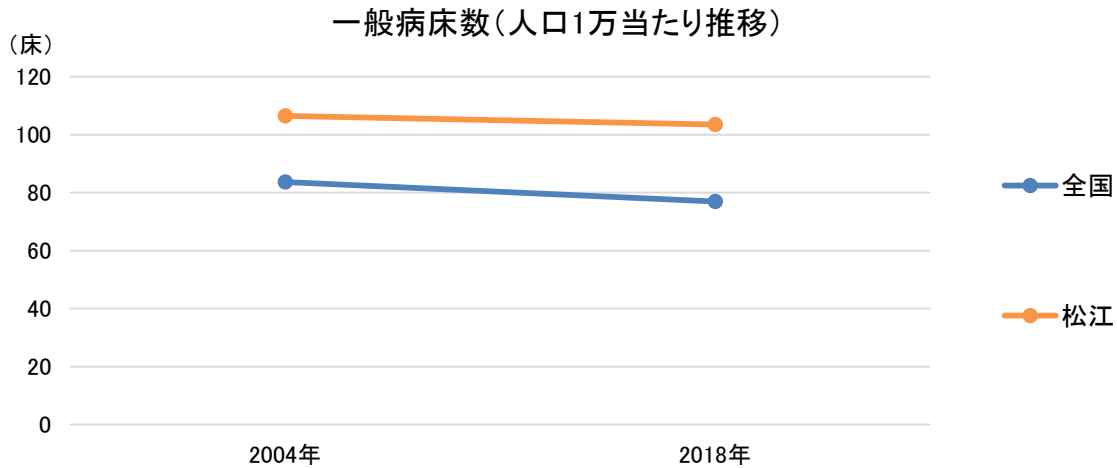
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が624人(人口10万人当たり245人(全国平均212人)偏差値54)であったが、2018年に614人(人口10万人当たり250人(全国平均245人)偏差値50)と、10人の減少、率にして2%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



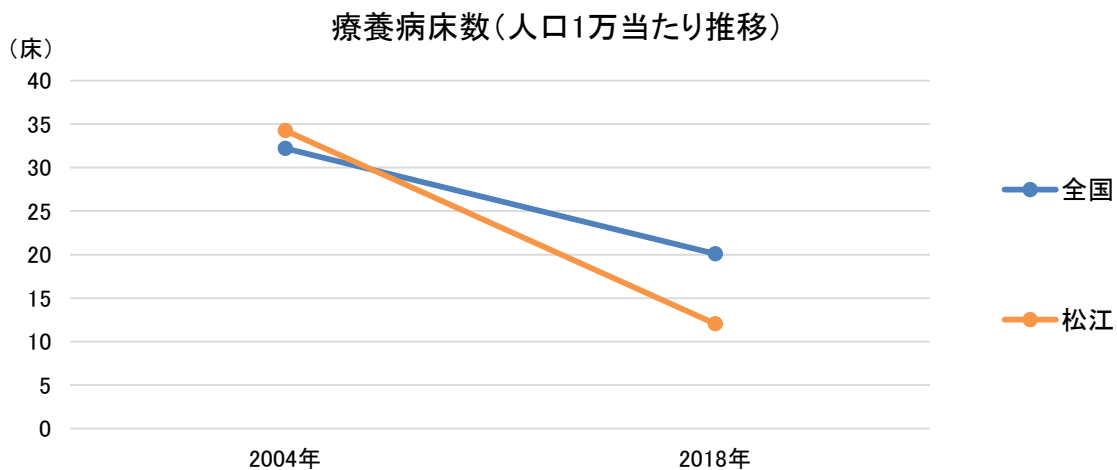
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,712床(人口1万人当たり107(全国平均84)偏差値58)であったが、2018年に2,544床(人口1万人当たり104(全国平均77)偏差値60)と、168床の減少、率にして6%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



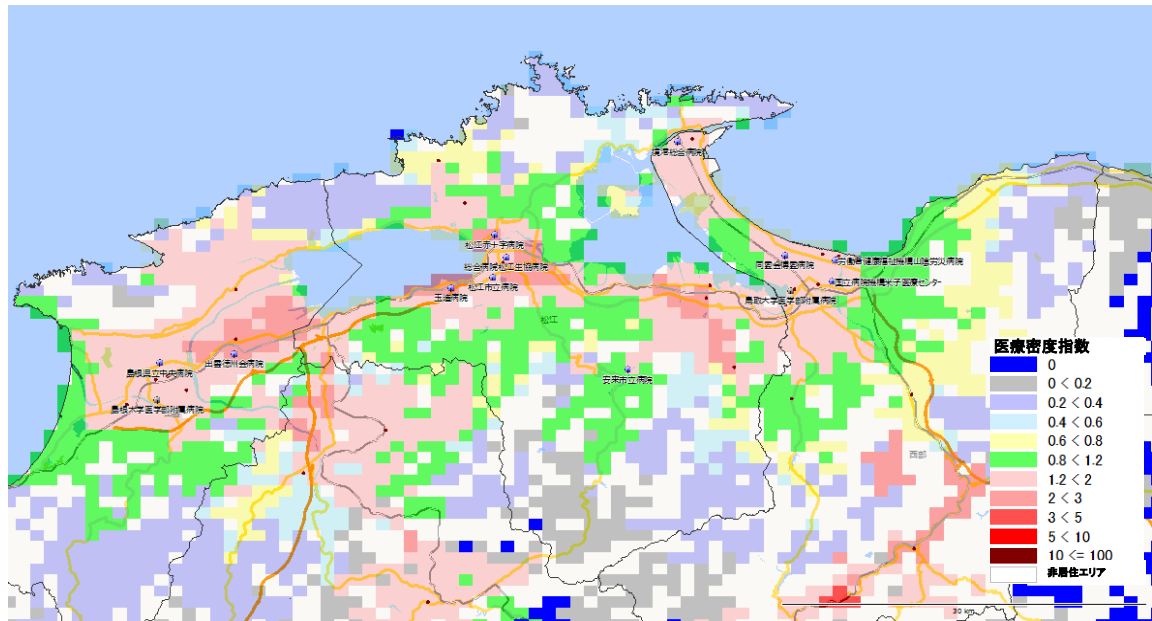
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,007床(75歳以上1,000人当たり34(全国平均32)偏差値51)であったが、2018年に452床(75歳以上1,000人当たり12(全国平均20)偏差値43)と、555床の減少、率にして55%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



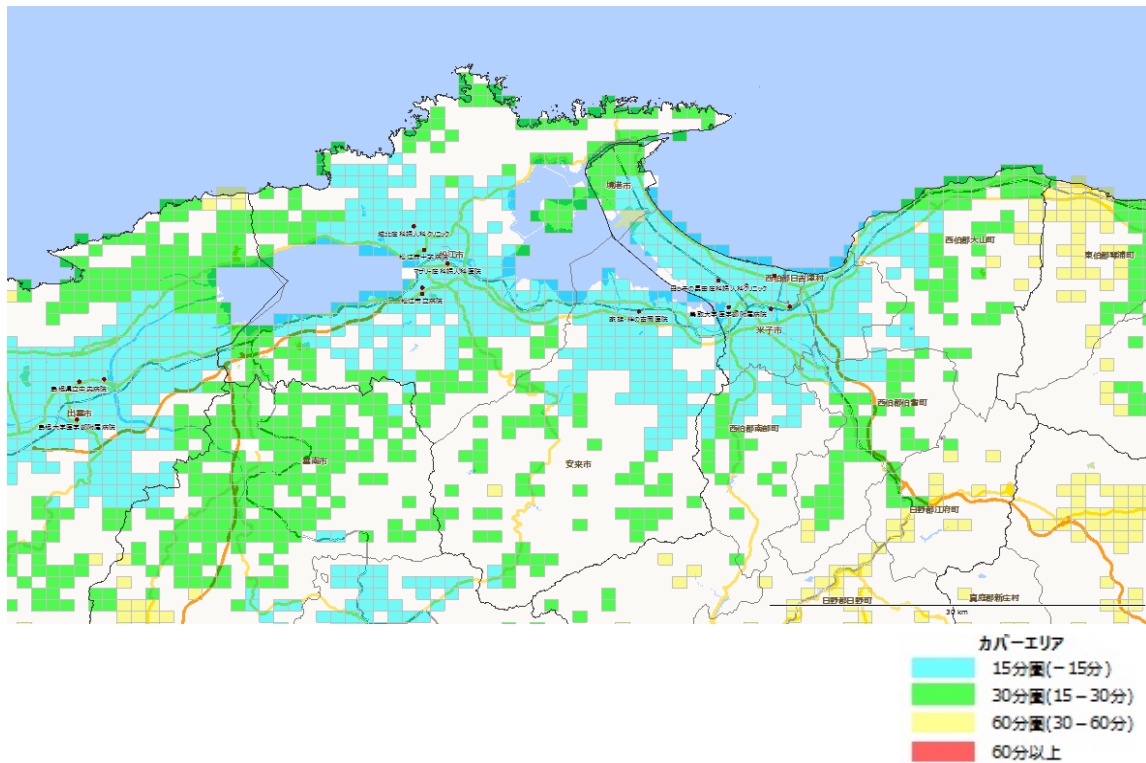
(松江医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表32-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表32-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )



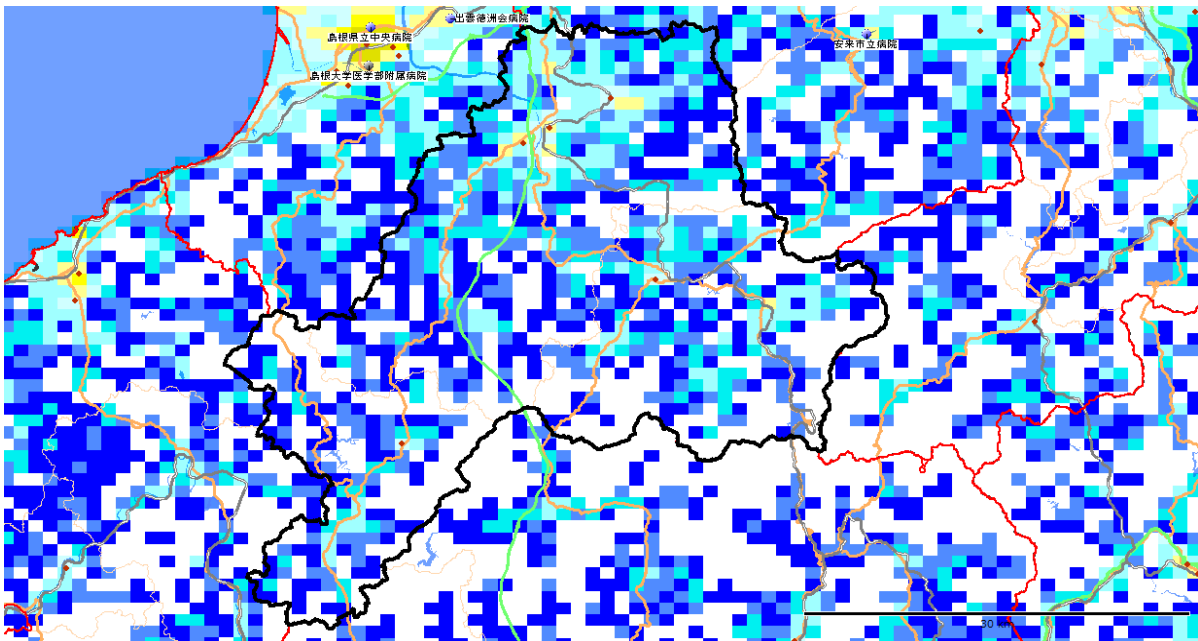


# 32-2. うんなん 雲南医療圏

構成市区町村 [雲南市](#) [奥出雲町](#) [飯南町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS  
 Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (雲南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 雲南(雲南市)は、総人口約57千人(2015年)、面積1,164km<sup>2</sup>、人口密度は49人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 雲南の総人口は2025年に48千人へと減少し(2015年比-16%)、2040年に36千人へと減少する(2025年比-25%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて13千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には12千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 雲南の一人当たり医療費(国保)は459千円(偏差値74)、介護給付費は290千円(偏差値60)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 雲南の一人当たり急性期医療密度指数は1.13、一人当たり慢性期医療密度指数は1.23で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が38(病院医師数39、診療所医師数38)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は46とやや少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は35と少ない。雲南には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は53で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 雲南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,090人(75歳以上1,000人当たりの偏差値37)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が890床(偏差値56)、高齢者住宅等が200床(偏差値32)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,011人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設37、特別養護老人ホーム66、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム37、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム45、サ高住36である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、77人(75歳以上1,000人当たりの偏差値36)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-6%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (雲南医療圏) 2. 推移

### 【人口と医療需要】

雲南医療圏の総人口は、2005年66,194人が、2015年に57,126人と14%減少し、2025年の人口が48,254人と予測され、2005年→2025年の間に27%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に5%減少し、2015年から2025年にかけて8%程度の減少が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

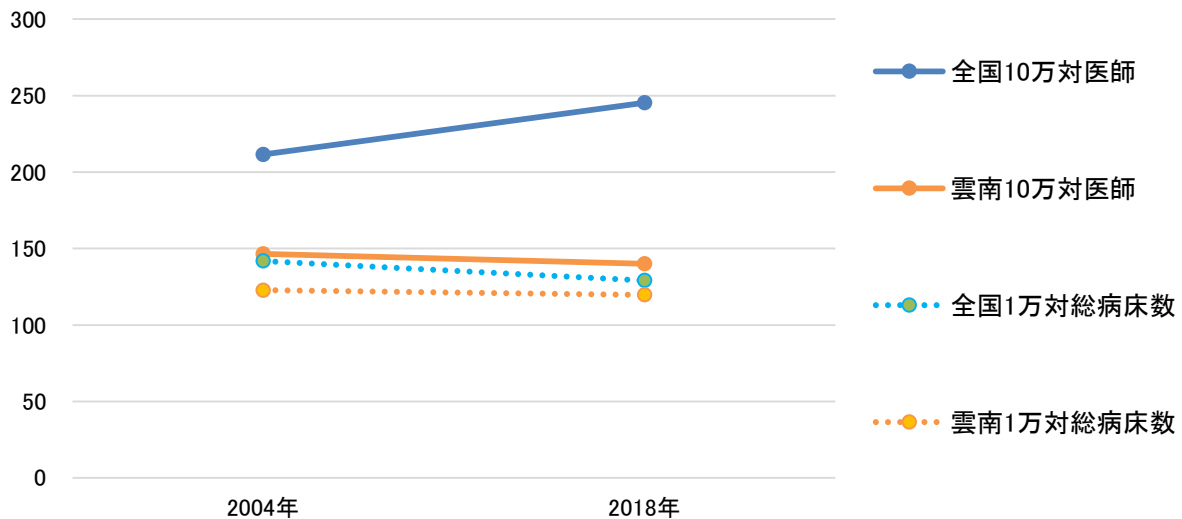
2004年の病院数が5(人口10万人当たり7.6病院(全国平均7.1)偏差値51)であったが、2018年に5(人口10万人当たり8.8病院(全国平均6.6)偏差値55)となり、14年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が58(人口10万人当たり88診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2018年に49(人口10万人当たり86診療所(全国平均80)偏差値53)と、9診療所が減少した。

2004年の総病床数が813床(人口1万人当たり123(全国平均142)偏差値47)であったが、2018年に684床(人口1万人当たり120(全国平均129)偏差値48)と、129床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

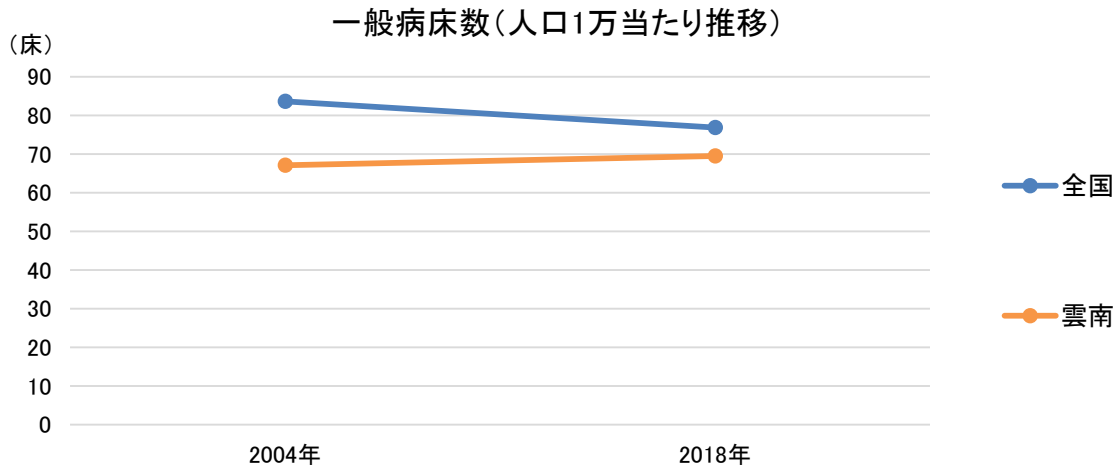
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が97人(人口10万人当たり147人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2018年に80人(人口10万人当たり140人(全国平均245人)偏差値38)と、17人の減少、率にして18%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



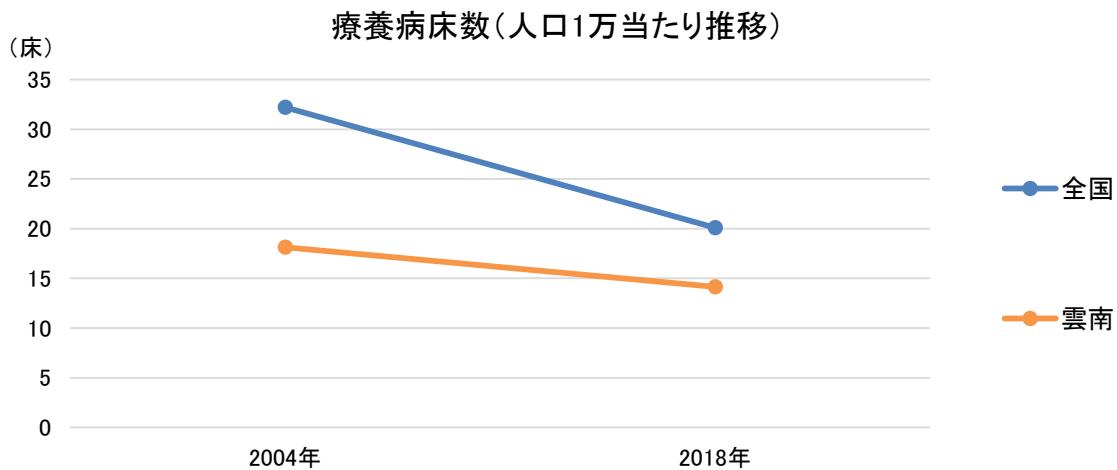
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が444床(人口1万人当たり67(全国平均84)偏差値44)であったが、2018年に397床(人口1万人当たり69(全国平均77)偏差値47)と、47床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



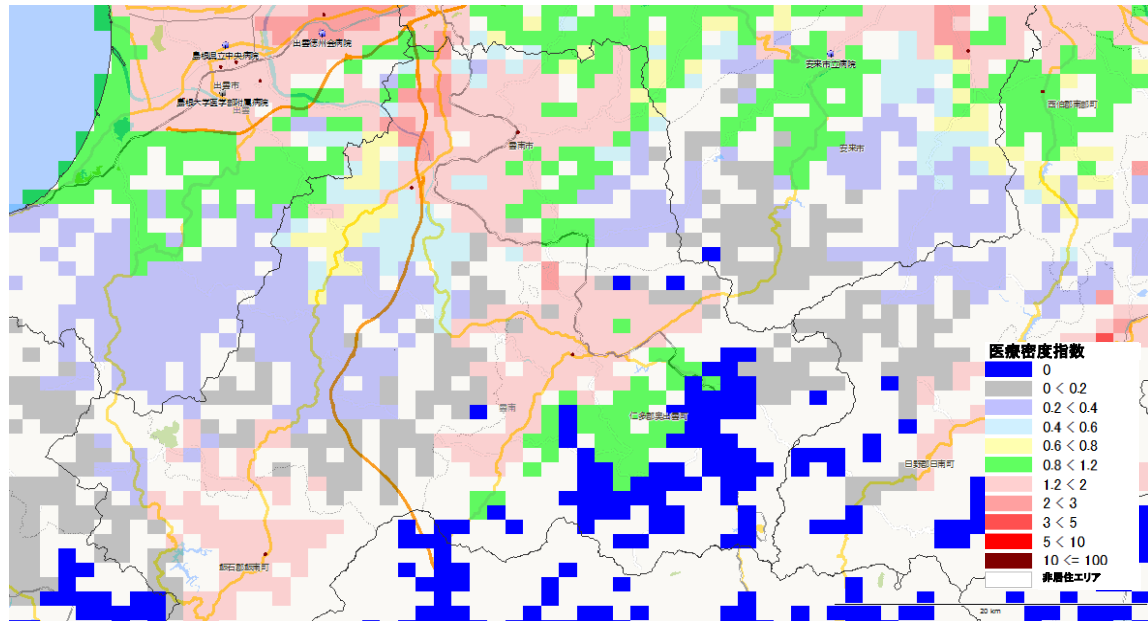
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が215床(75歳以上1,000人当たり18(全国平均32)偏差値42)であったが、2018年に183床(75歳以上1,000人当たり14(全国平均20)偏差値45)と、32床の減少、率にして15%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



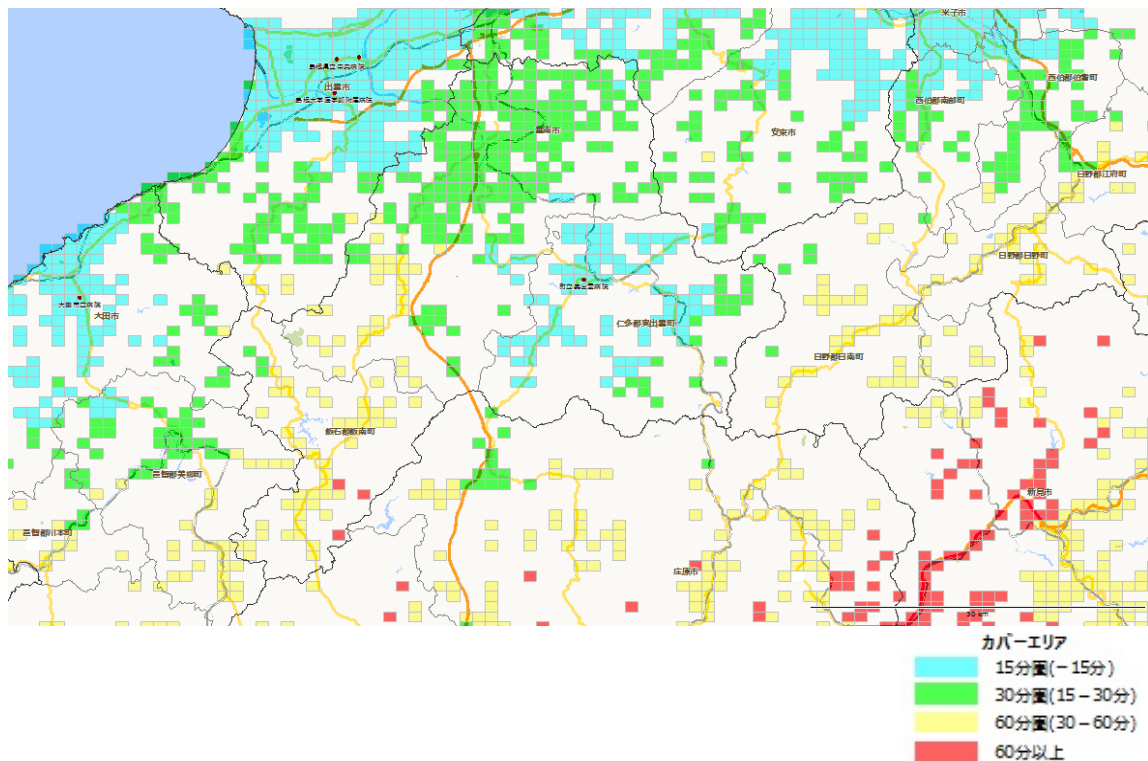
## (雲南医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表32-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表32-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

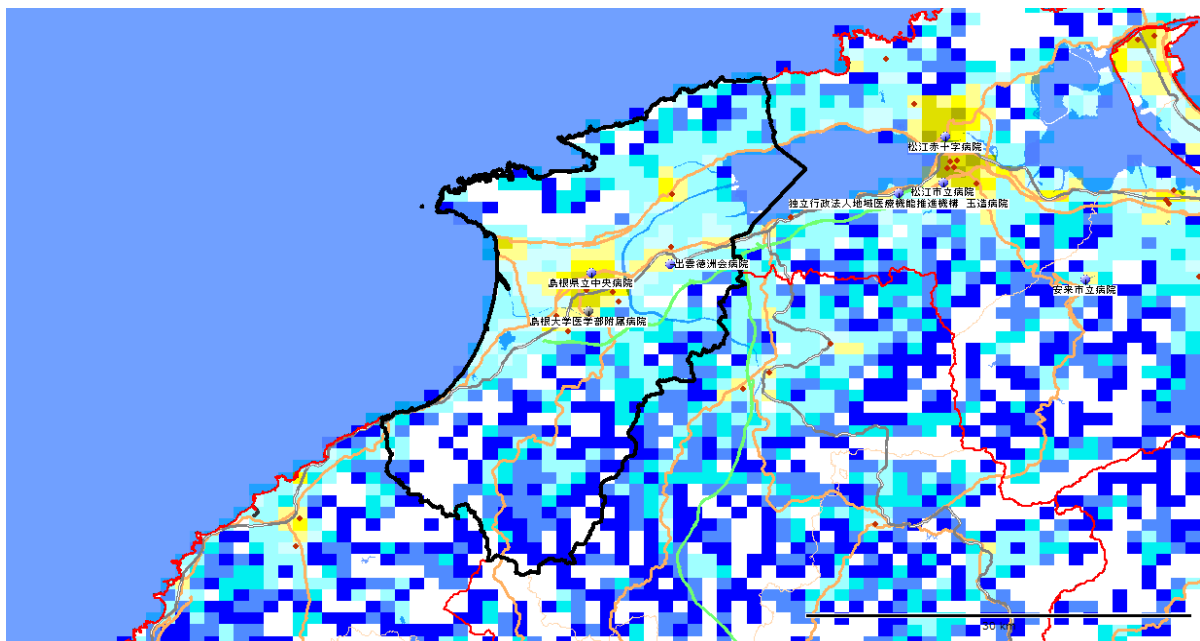


# 32-3. いづも 出雲医療圏

構成市区町村 [出雲市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS  
 Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (出雲医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 出雲(出雲市)は、総人口約172千人(2015年)、面積624km<sup>2</sup>、人口密度は275人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 出雲の総人口は2025年に170千人へと減少し(2015年比-1%)、2040年に162千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて32千人へと増加し(2015年比+19%)、2040年には33千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 出雲の一人当たり医療費(国保)は422千円(偏差値65)、介護給付費は306千円(偏差値65)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 出雲の一人当たり急性期医療密度指数は1.17、一人当たり慢性期医療密度指数は1.31で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が74(病院医師数77、診療所医師数58)と、総医師数は非常に多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は65と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は61で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は56と多い。出雲には、年間全身麻酔件数が2000例以上の島根県立中央病院(Ⅲ群・救命)、島根大学医学部附属病院(I群・救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値56と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は58で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 出雲の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,004人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,642床(偏差値50)、高齢者住宅等が1,362床(偏差値55)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,664人(75歳以上1,000人当たりの偏差値69)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホーム49、軽費ホーム57、グループホーム62、サ高住50である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、273人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+8%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

## (出雲医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

出雲医療圏の総人口は、2005年173,751人が、2015年に171,938人と1%減少し、2025年の人口が170,061人と予測され、2005年→2025年の間に2%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

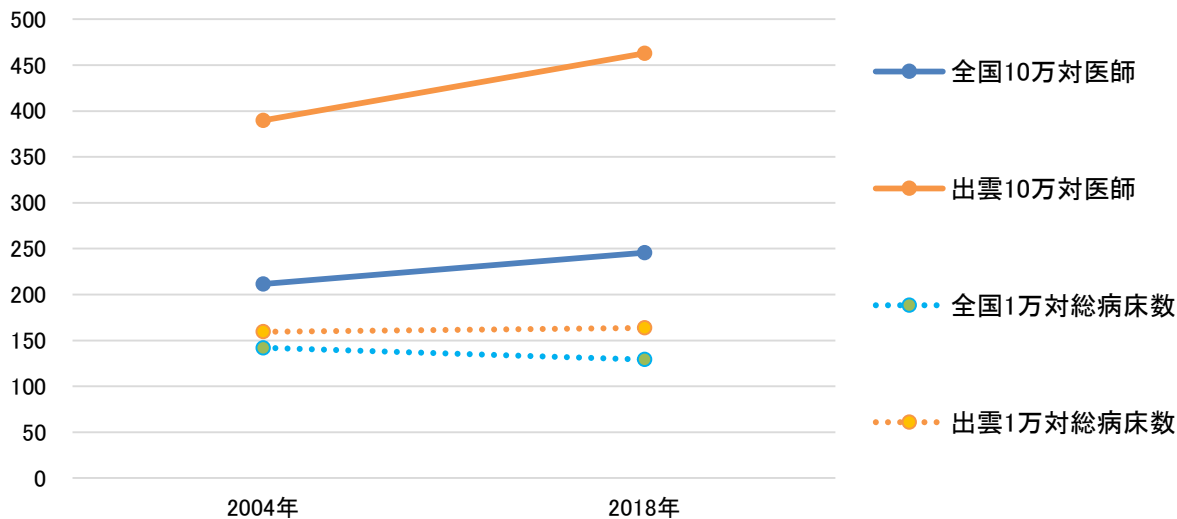
2004年の病院数が9(人口10万人当たり5.2病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2018年に11(人口10万人当たり6.4病院(全国平均6.6)偏差値50)となり、14年間で2病院が増加した。

2004年の診療所数が172(人口10万人当たり99診療所(全国平均76)偏差値61)であったが、2018年に165(人口10万人当たり96診療所(全国平均80)偏差値58)と、7診療所が減少した。

2004年の総病床数が2,772床(人口1万人当たり160(全国平均142)偏差値53)であったが、2018年に2,815床(人口1万人当たり164(全国平均129)偏差値57)と、43床の増加、率にして2%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が677人(人口10万人当たり390人(全国平均212人)偏差値71)であったが、2018年に796人(人口10万人当たり463人(全国平均245人)偏差値74)と、119人の増加、率にして18%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

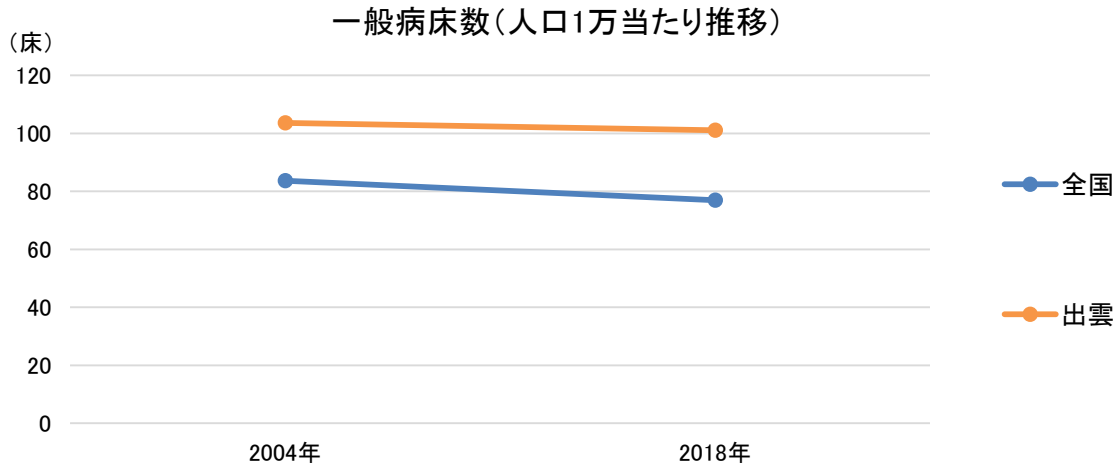
人口当たり医師数・総病床数の推移





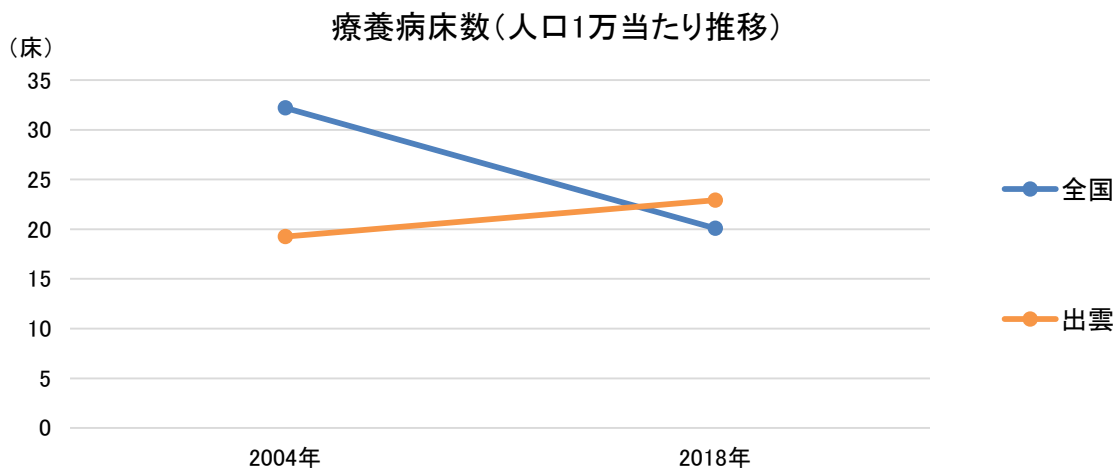
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,800床(人口1万人当たり104(全国平均84)偏差値57)であったが、2018年に1,738床(人口1万人当たり101(全国平均77)偏差値59)と、62床の減少、率にして3%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



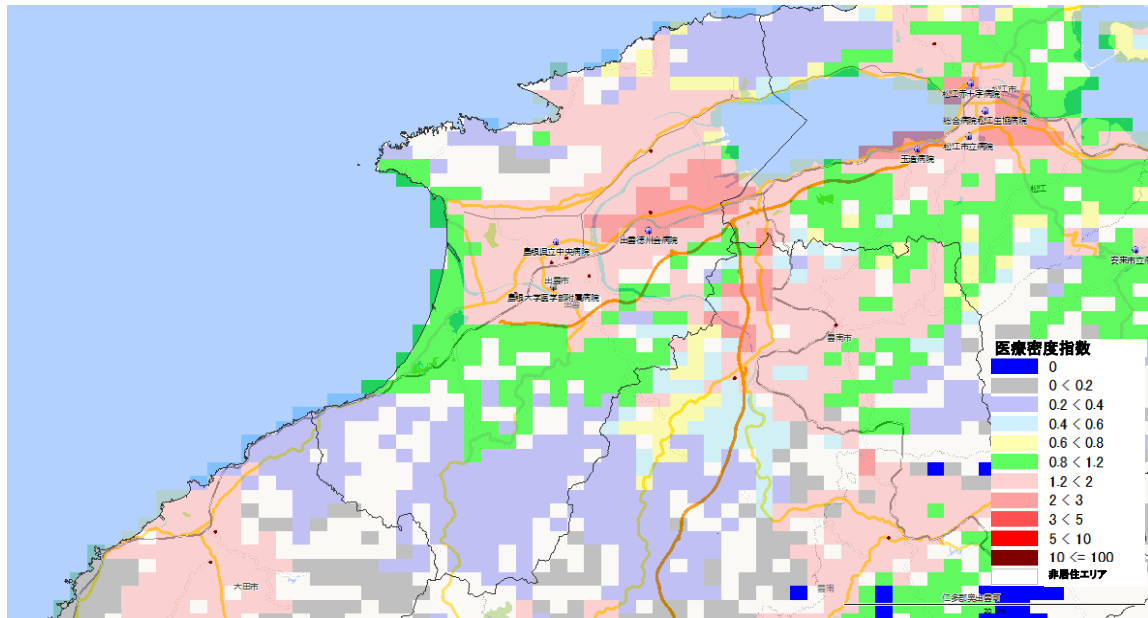
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が405床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均32)偏差値43)であったが、2018年に611床(75歳以上1,000人当たり23(全国平均20)偏差値53)と、206床の増加、率にして51%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



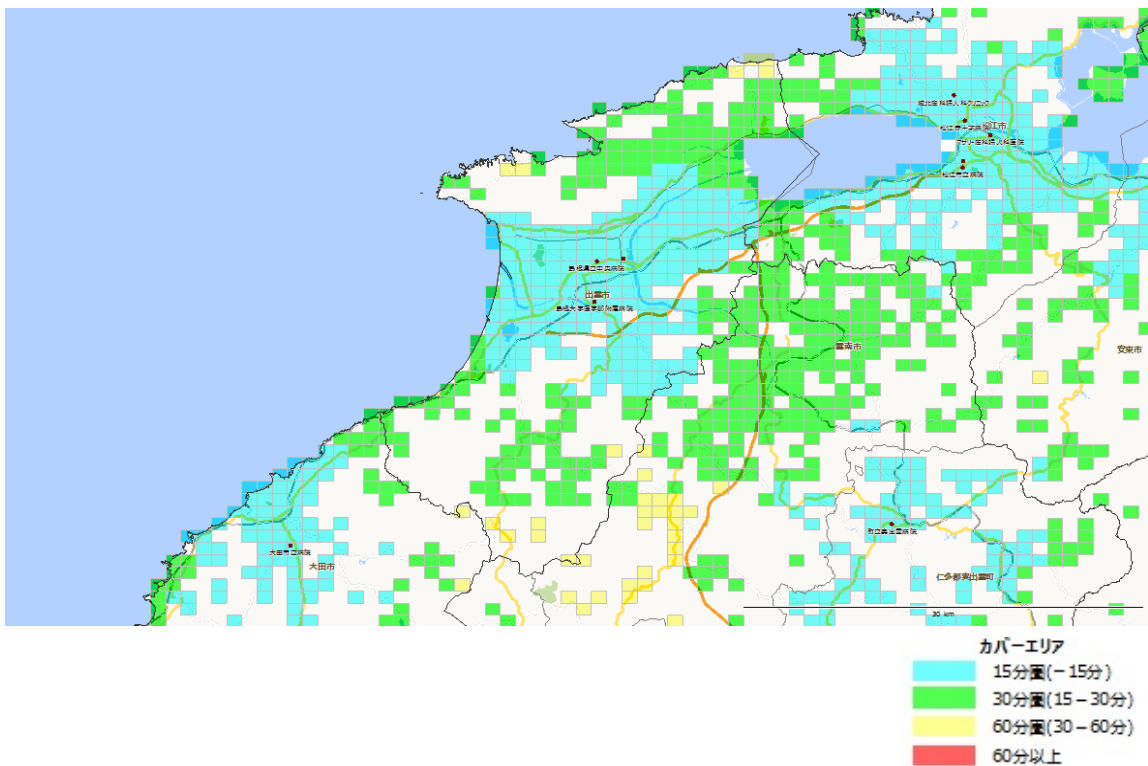
(出雲医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表32-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表32-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

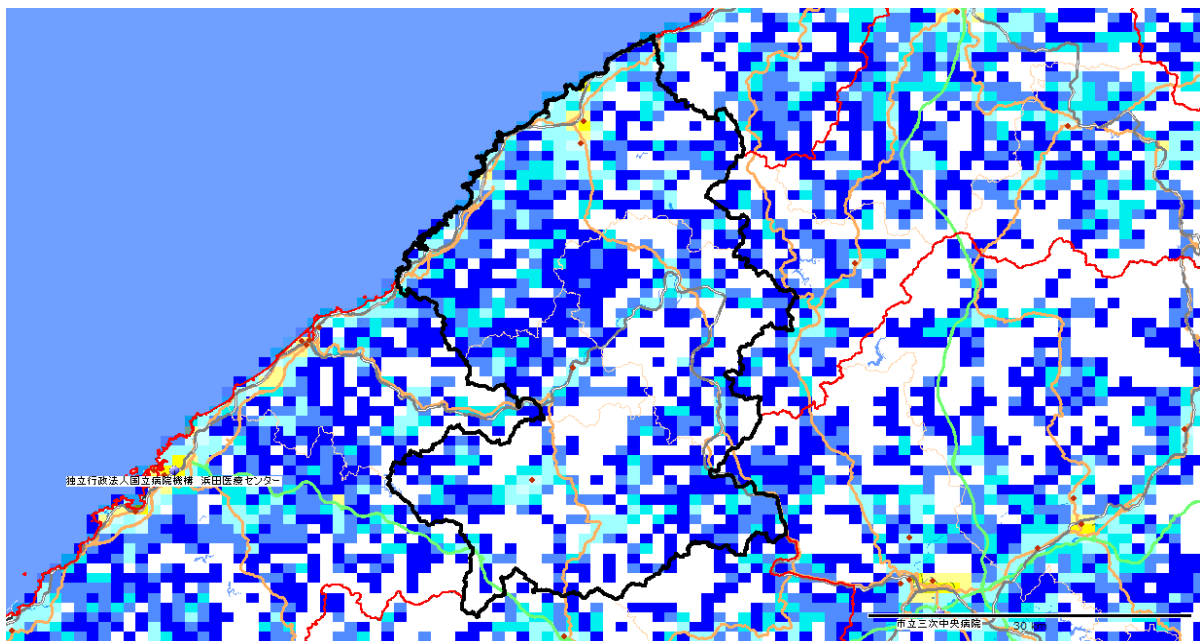


# 32-4. おおた 大田医療圏

構成市区町村 [大田市](#) [川本町](#) [美郷町](#) [邑南町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS  
 Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



● 一般病院

## (大田医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 大田(大田市)は、総人口約55千人(2015年)、面積1,244km<sup>2</sup>、人口密度は44人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 大田の総人口は2025年に46千人へと減少し(2015年比-16%)、2040年に34千人へと減少する(2025年比-26%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて13千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には11千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 大田の一人当たり医療費(国保)は476千円(偏差値77)、介護給付費は344千円(偏差値76)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 大田の一人当たり急性期医療密度指数は0.82、一人当たり慢性期医療密度指数は1.24で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が43(病院医師数40、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は49と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は34と非常に少ない。大田には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は54と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値58と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は77で診療所数は非常に多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 大田の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,344人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,000床(偏差値64)、高齢者住宅等が344床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,172人(75歳以上1,000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム65、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム40、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム51、サ高住43である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値57と多い。介護職員(在宅)の合計は、88人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+14%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## (大田医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

大田医療圏の総人口は、2005年63,882人が、2015年に54,609人と15%減少し、2025年の人口が45,910人と予測され、2005年→2025年の間に28%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に8%減少し、2015年から2025年にかけて10%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

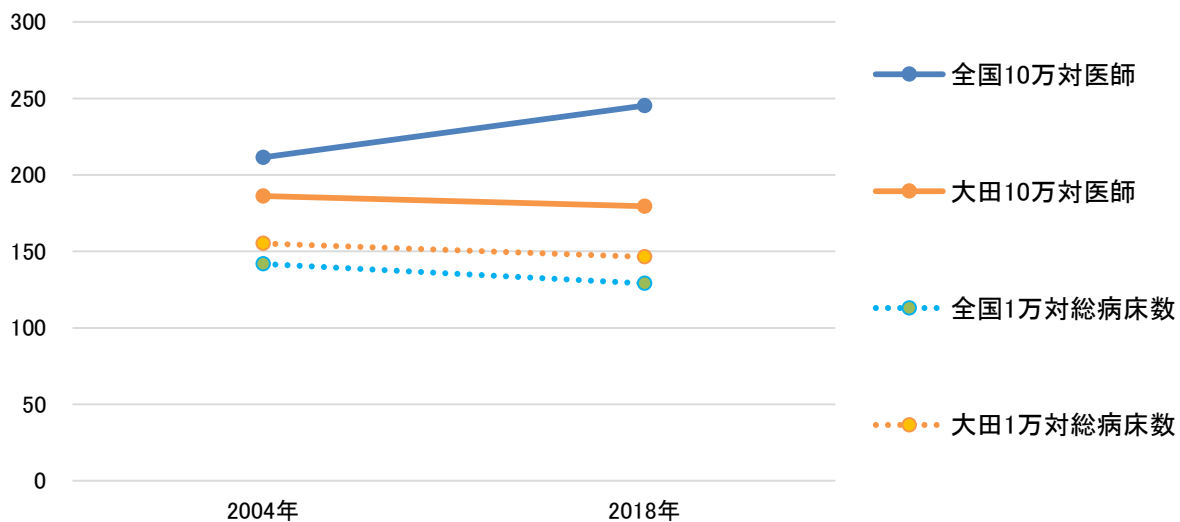
2004年の病院数が5(人口10万人当たり7.8病院(全国平均7.1)偏差値52)であったが、2018年に4(人口10万人当たり7.3病院(全国平均6.6)偏差値52)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が85(人口10万人当たり133診療所(全国平均76)偏差値78)であったが、2018年に72(人口10万人当たり132診療所(全国平均80)偏差値77)と、13診療所が減少した。

2004年の総病床数が992床(人口1万人当たり155(全国平均142)偏差値52)であったが、2018年に800床(人口1万人当たり146(全国平均129)偏差値53)と、192床の減少、率にして19%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

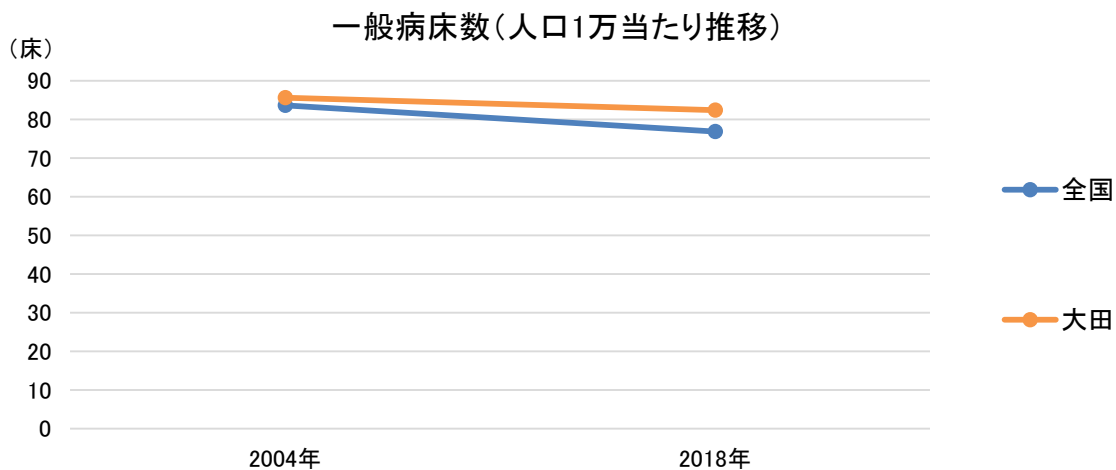
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が119人(人口10万人当たり186人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2018年に98人(人口10万人当たり179人(全国平均245人)偏差値43)と、21人の減少、率にして18%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



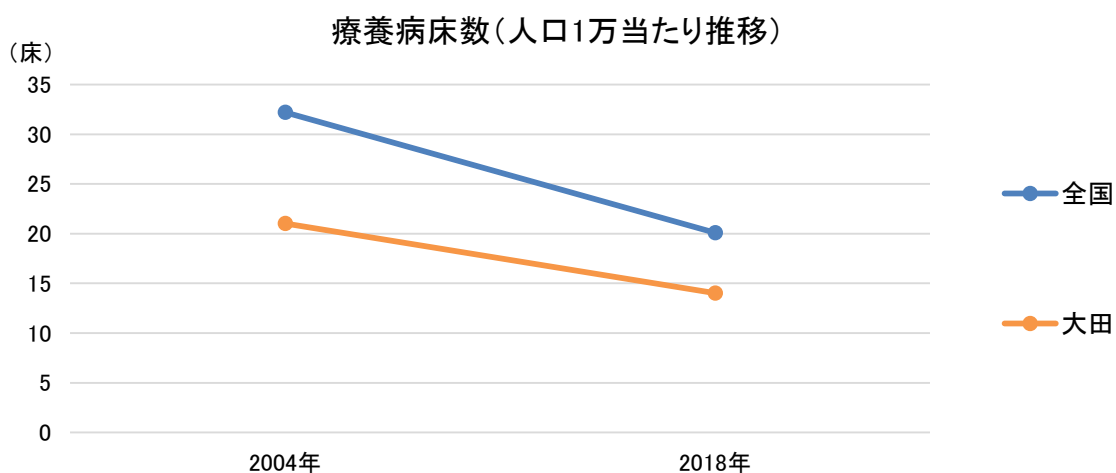
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が547床(人口1万人当たり86(全国平均84)偏差値51)であったが、2018年に450床(人口1万人当たり82(全国平均77)偏差値52)と、97床の減少、率にして18%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



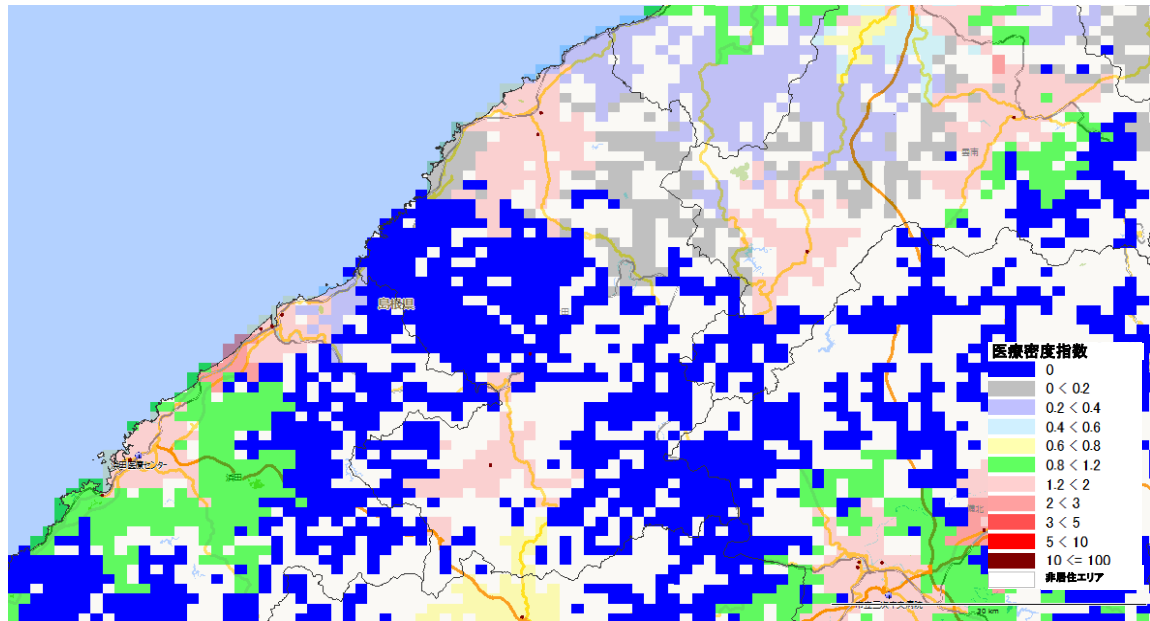
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が273床(75歳以上1,000人当たり21(全国平均32)偏差値44)であったが、2018年に178床(75歳以上1,000人当たり14(全国平均20)偏差値45)と、95床の減少、率にして35%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



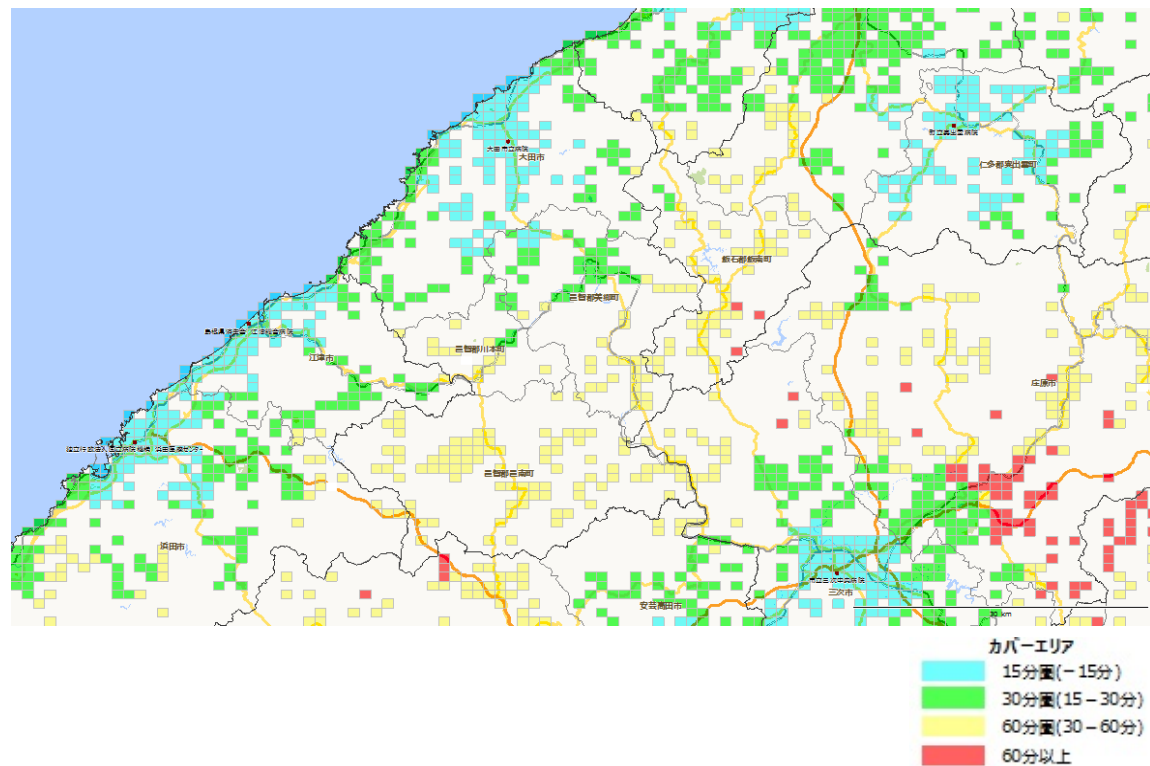
## (大田医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表32-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表32-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

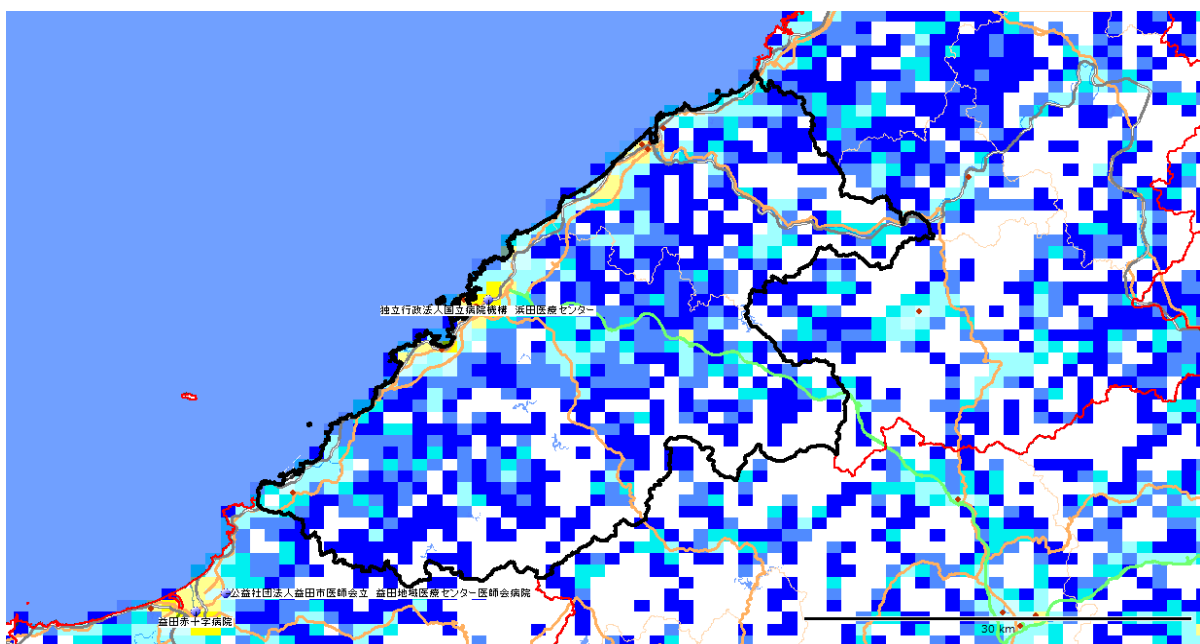


# 32-5. はまだ 浜田医療圏

構成市区町村 [浜田市](#) [江津市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院





## (浜田医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 浜田(浜田市)は、総人口約83千人(2015年)、面積959km<sup>2</sup>、人口密度は86人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 浜田の総人口は2025年に73千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に60千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の16千人が、2025年にかけて17千人へと増加し(2015年比+6%)、2040年には14千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 浜田の一人当たり医療費(国保)は502千円(偏差値83)、介護給付費は355千円(偏差値80)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 浜田の一人当たり急性期医療密度指数は1.25、一人当たり慢性期医療密度指数は1.9で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が49(病院医師数46、診療所医師数56)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は61と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。浜田には、年間全身麻酔件数が500例以上のNH0浜田医療センター(Ⅲ群・救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は68で診療所数は非常に多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 浜田の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,615人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,207床(偏差値62)、高齢者住宅等が408床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,453人(75歳以上1,000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設63、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設55、有料老人ホーム44、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム51、サ高住36である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値64と多く、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、228人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+13%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## (浜田医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

浜田医療圏の総人口は、2005年90,820人が、2015年に82,573人と9%減少し、2025年の人口が73,307人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

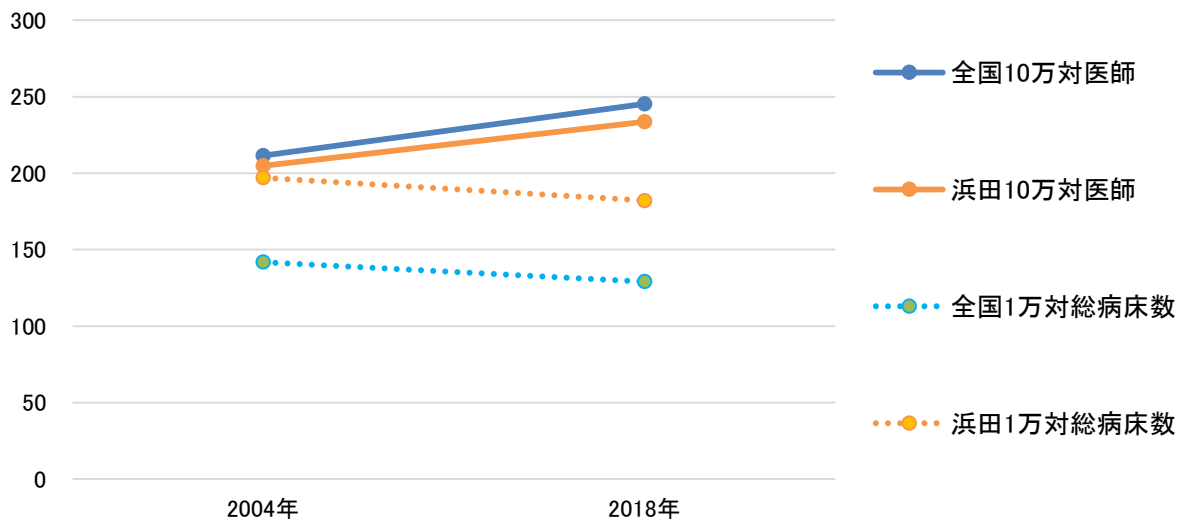
2004年の病院数が11(人口10万人当たり12.1病院(全国平均7.1)偏差値63)であったが、2018年に8(人口10万人当たり9.7病院(全国平均6.6)偏差値58)となり、14年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が101(人口10万人当たり111診療所(全国平均76)偏差値68)であったが、2018年に94(人口10万人当たり114診療所(全国平均80)偏差値68)と、7診療所が減少した。

2004年の総病床数が1,790床(人口1万人当たり197(全国平均142)偏差値60)であったが、2018年に1,504床(人口1万人当たり182(全国平均129)偏差値60)と、286床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

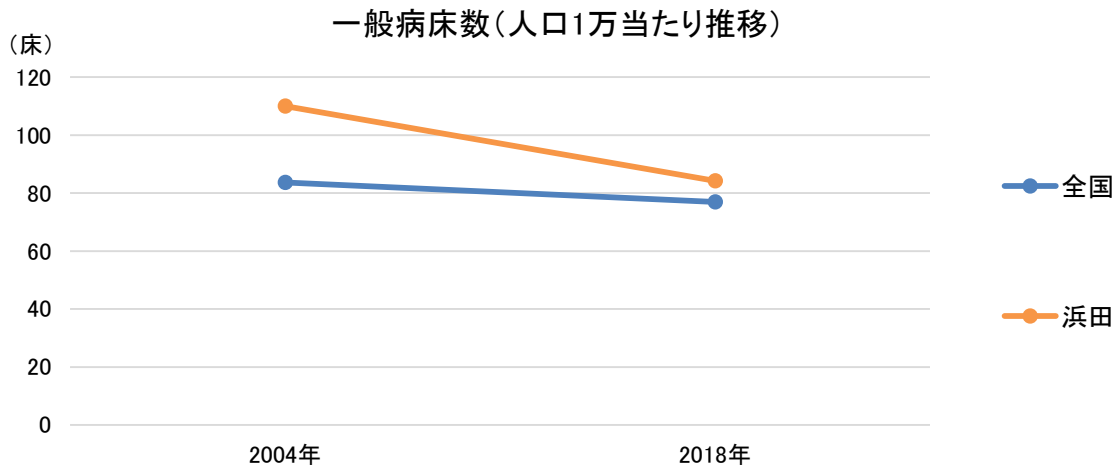
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が186人(人口10万人当たり205人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2018年に193人(人口10万人当たり234人(全国平均245人)偏差値49)と、7人の増加、率にして4%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



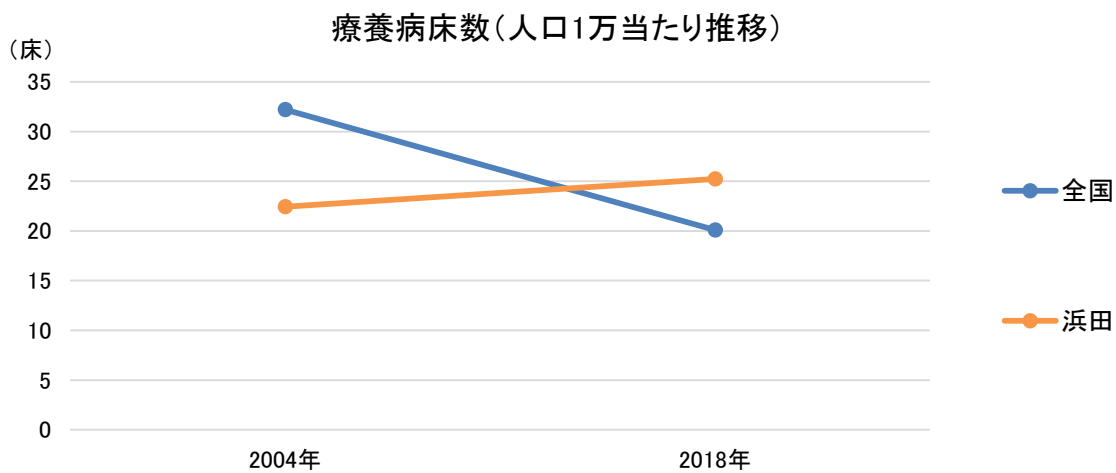
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が999床(人口1万人当たり110(全国平均84)偏差値59)であったが、2018年に695床(人口1万人当たり84(全国平均77)偏差値53)と、304床の減少、率にして30%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



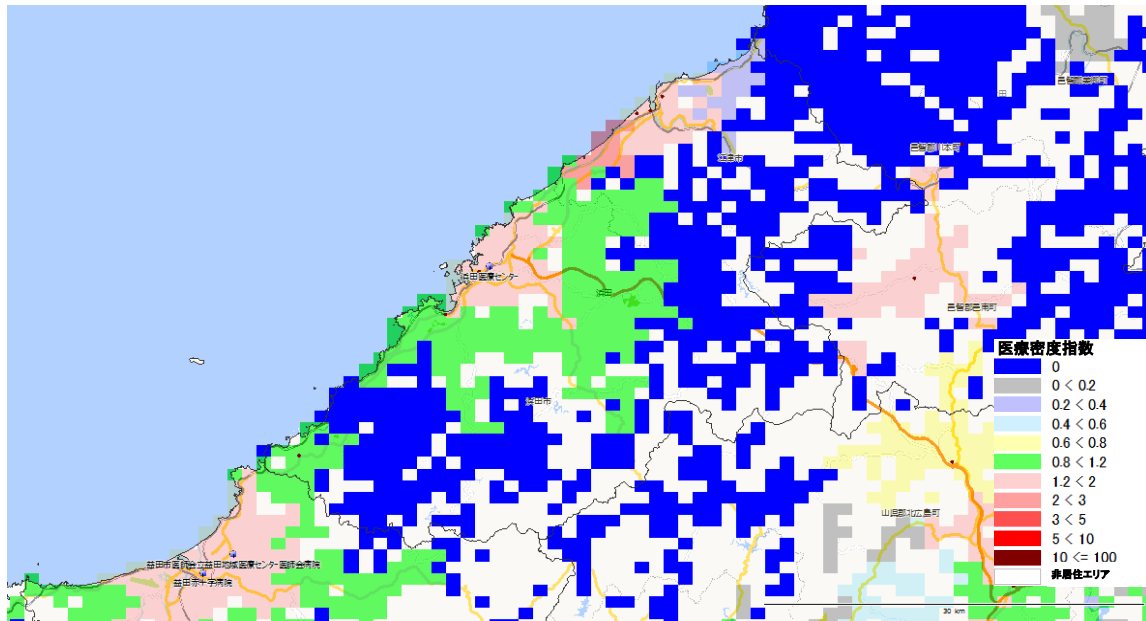
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が317床(75歳以上1,000人当たり22(全国平均32)偏差値44)であったが、2018年に397床(75歳以上1,000人当たり25(全国平均20)偏差値55)と、80床の増加、率にして25%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



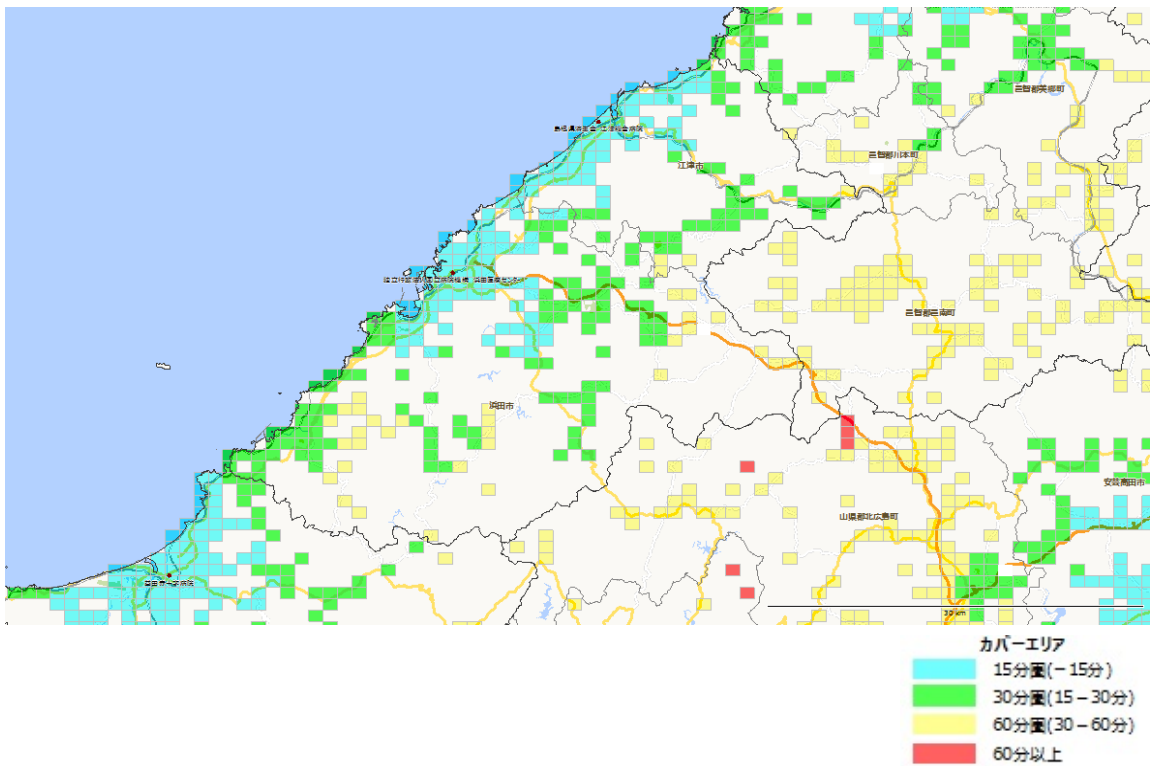
(浜田医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表32-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表32-5-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

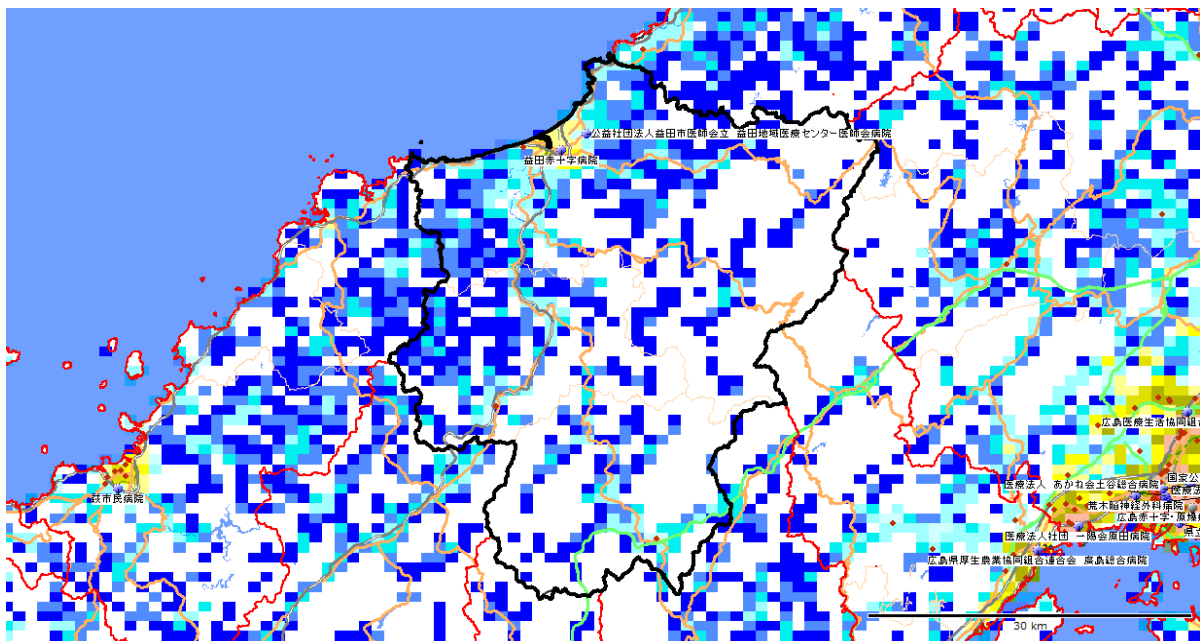


# 32-6. ますだ 益田医療圏

構成市区町村 [益田市](#) [津和野町](#) [吉賀町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (益田医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 益田(益田市)は、総人口約62千人(2015年)、面積1,377km<sup>2</sup>、人口密度は45人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 益田の総人口は2025年に54千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に43千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて14千人へと増加し(2015年比+8%)、2040年には12千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 益田の一人当たり医療費(国保)は424千円(偏差値66)、介護給付費は294千円(偏差値62)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 益田の一人当たり急性期医療密度指数は0.9、一人当たり慢性期医療密度指数は3.02で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が47(病院医師数45、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにはほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は61と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は61で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。益田には、年間全身麻酔件数が1000例以上の益田赤十字病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は57と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値56と多く、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は70で診療所数は非常に多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 益田の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,357人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が905床(偏差値58)、高齢者住宅等が452床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、965人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム40、軽費ホーム87、グループホーム53、サ高住41である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員(在宅)の合計は、93人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+12%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## (益田医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

益田医療圏の総人口は、2005年69,245人が、2015年に61,745人と11%減少し、2025年の人口が53,958人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて5%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

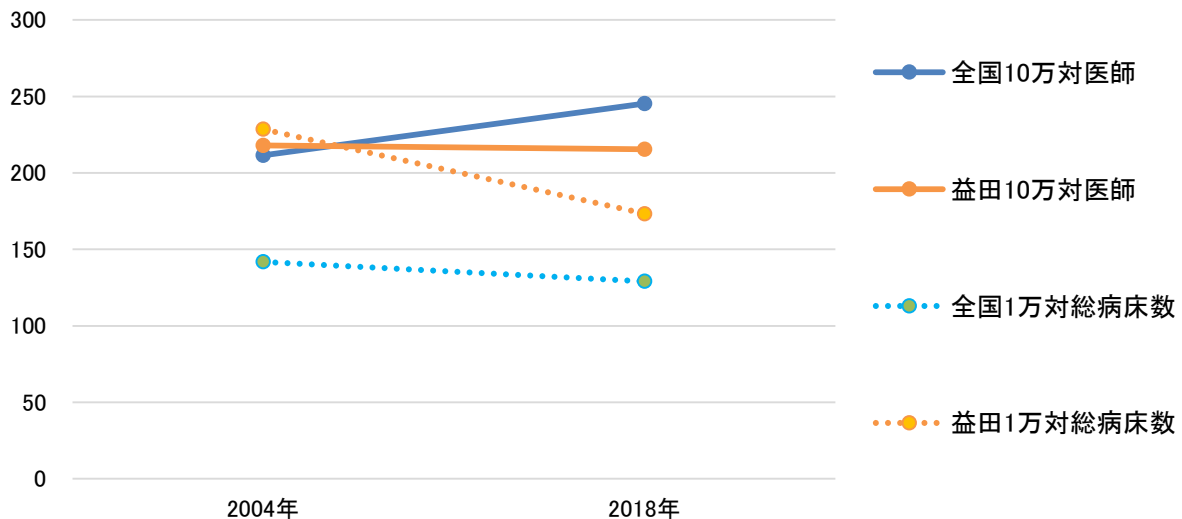
2004年の病院数が6(人口10万人当たり8.7病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2018年に5(人口10万人当たり8.1病院(全国平均6.6)偏差値54)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が73(人口10万人当たり105診療所(全国平均76)偏差値65)であったが、2018年に73(人口10万人当たり118診療所(全国平均80)偏差値70)と、増減がなかった。

2004年の総病床数が1,583床(人口1万人当たり229(全国平均142)偏差値65)であったが、2018年に1,070床(人口1万人当たり173(全国平均129)偏差値58)と、513床の減少、率にして32%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

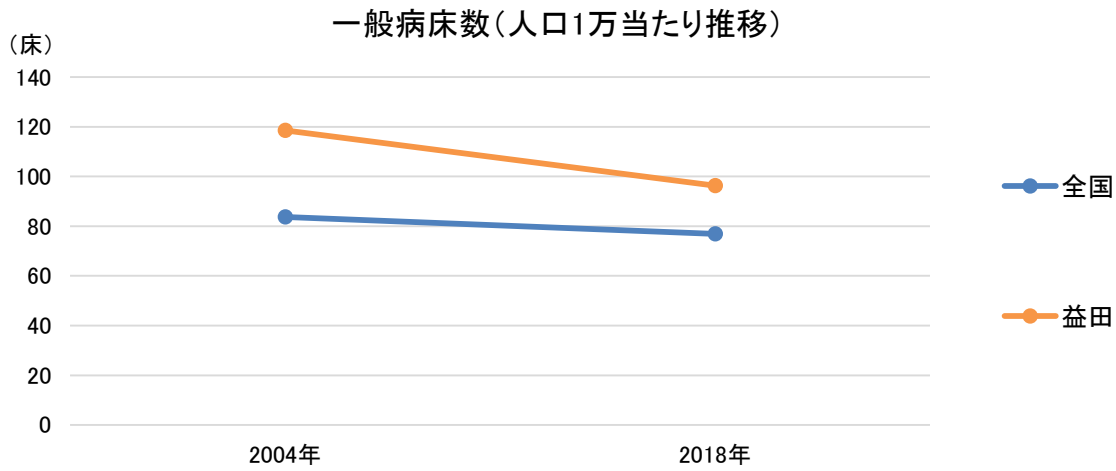
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が151人(人口10万人当たり218人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2018年に133人(人口10万人当たり215人(全国平均245人)偏差値47)と、18人の減少、率にして12%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



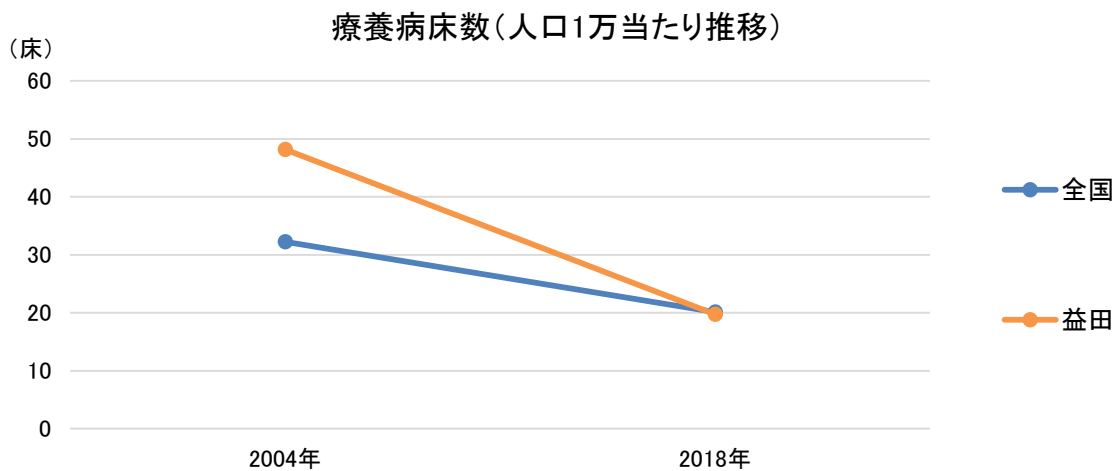
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が821床(人口1万人当たり119(全国平均84)偏差値62)であったが、2018年に595床(人口1万人当たり96(全国平均77)偏差値58)と、226床の減少、率にして28%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

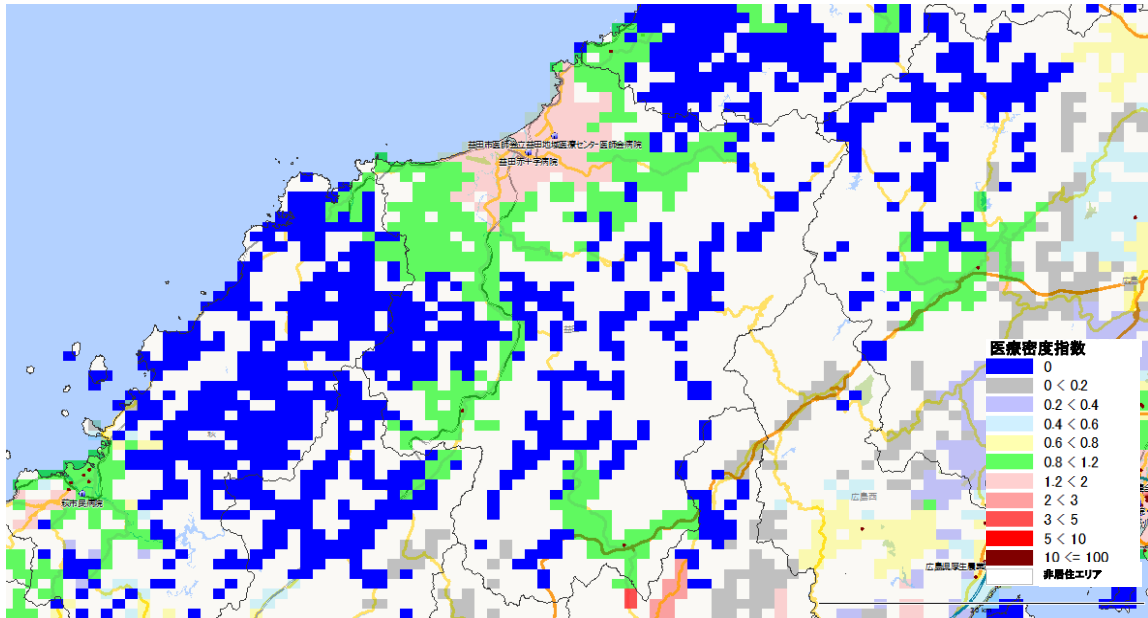
2004年の療養病床(病院+診療所)が535床(75歳以上1,000人当たり48(全国平均32)偏差値59)であったが、2018年に252床(75歳以上1,000人当たり20(全国平均20)偏差値50)と、283床の減少、率にして53%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。





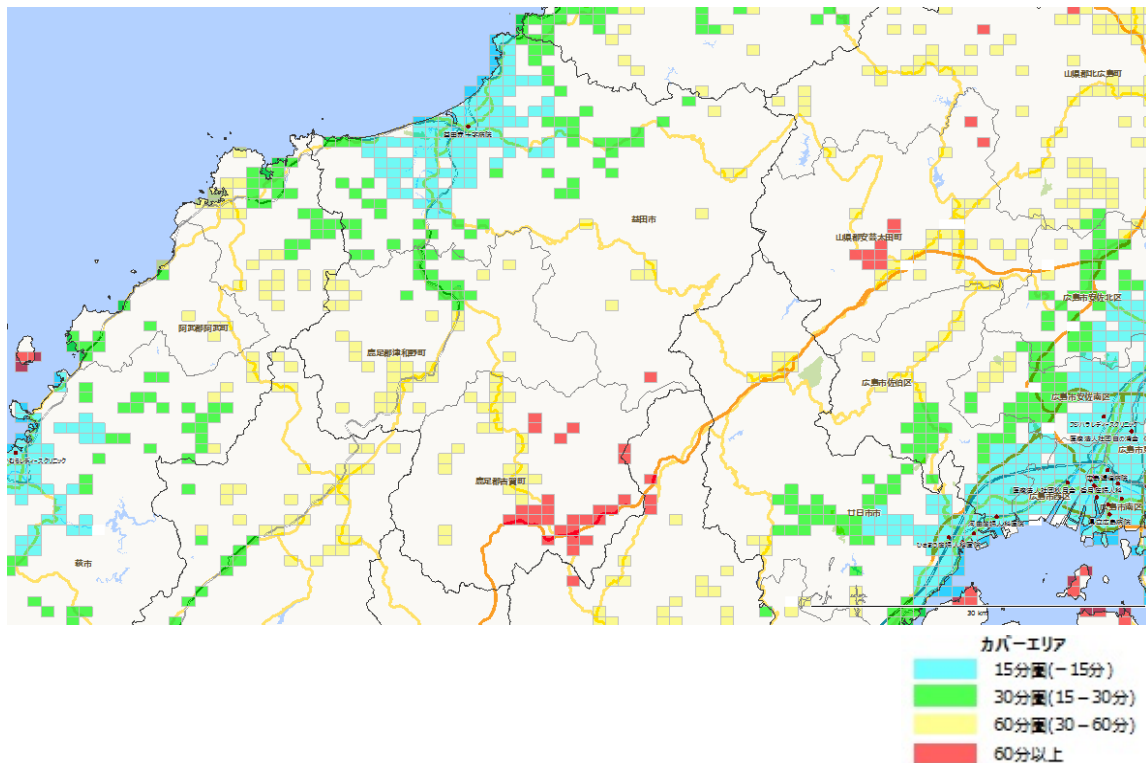
## (益田医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表32-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表32-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

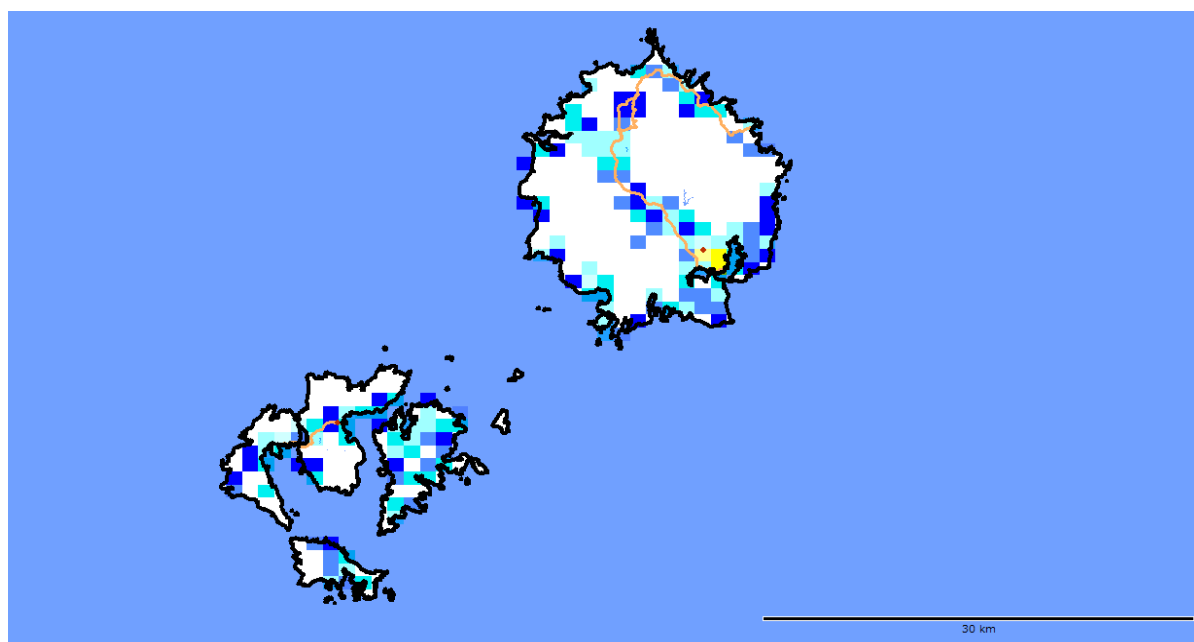


# 32-7. おき 隠岐医療圏

構成市区町村 [海士町](#)      [西ノ島町](#)      [知夫村](#)      [隠岐の島町](#)

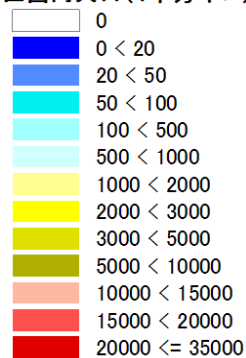
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS  
 Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (隠岐医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 隠岐(隠岐郡海士町)は、総人口約21千人(2015年)、面積346km<sup>2</sup>、人口密度は60人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 隠岐の総人口は2025年に18千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に14千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の5千人が、2025年にかけて5千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には4千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 隠岐の一人当たり医療費(国保)は409千円(偏差値62)、介護給付費は331千円(偏差値72)であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 隠岐の一人当たり急性期医療密度指数は0.5、一人当たり慢性期医療密度指数は0.69で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が41(病院医師数43、診療所医師数36)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は46とやや少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。隠岐には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は43で精神病床数は少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は59で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 隠岐の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、428人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が356床(偏差値64)、高齢者住宅等が72床(偏差値32)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、491人(75歳以上1,000人当たりの偏差値78)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設38、特別養護老人ホーム74、介護療養型医療施設51、有料老人ホームなし(偏差値36)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム56、サ高住なし(偏差値30)である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値98と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、47人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+5%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (隠岐医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

隠岐医療圏の総人口は、2005年23,696人が、2015年に20,603人と13%減少し、2025年の人口が17,891人と予測され、2005年→2025年の間に24%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%減少し、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

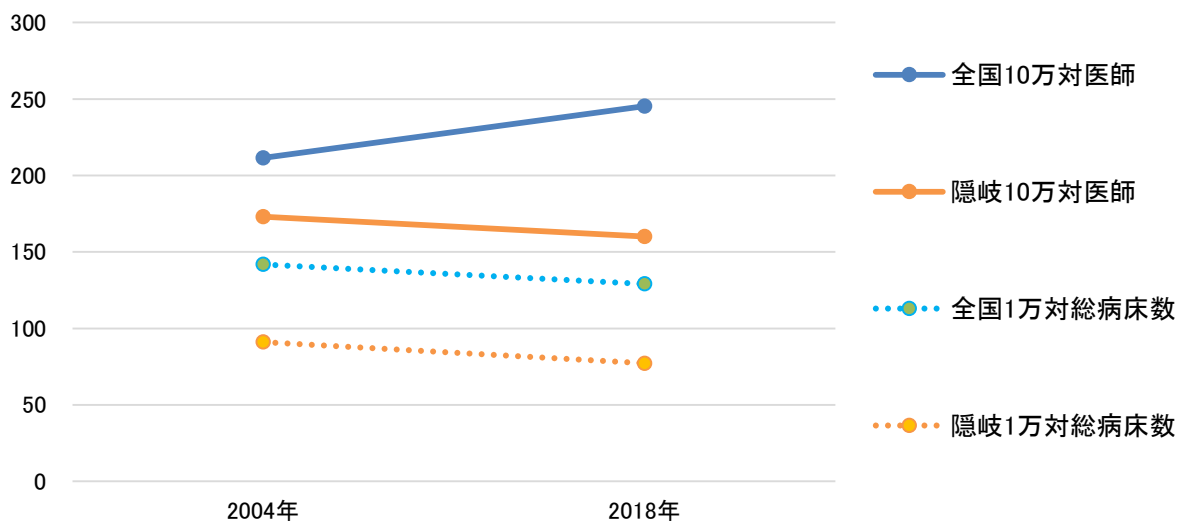
2004年の病院数が2(人口10万人当たり8.4病院(全国平均7.1)偏差値53)であったが、2018年に2(人口10万人当たり9.7病院(全国平均6.6)偏差値58)となり、14年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が27(人口10万人当たり114診療所(全国平均76)偏差値69)であったが、2018年に20(人口10万人当たり97診療所(全国平均80)偏差値59)と、7診療所が減少した。

2004年の総病床数が216床(人口1万人当たり91(全国平均142)偏差値41)であったが、2018年に159床(人口1万人当たり77(全国平均129)偏差値40)と、57床の減少、率にして26%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

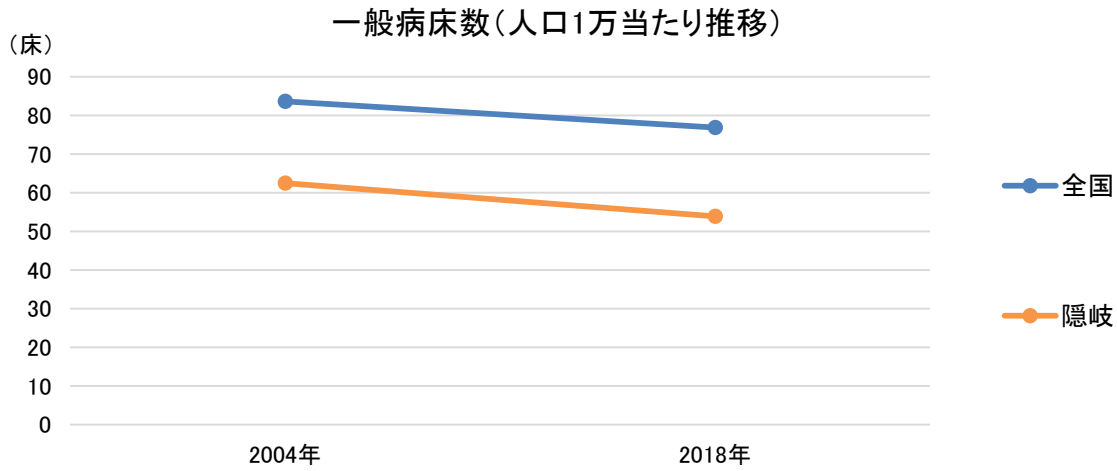
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が41人(人口10万人当たり173人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2018年に33人(人口10万人当たり160人(全国平均245人)偏差値41)と、8人の減少、率にして20%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



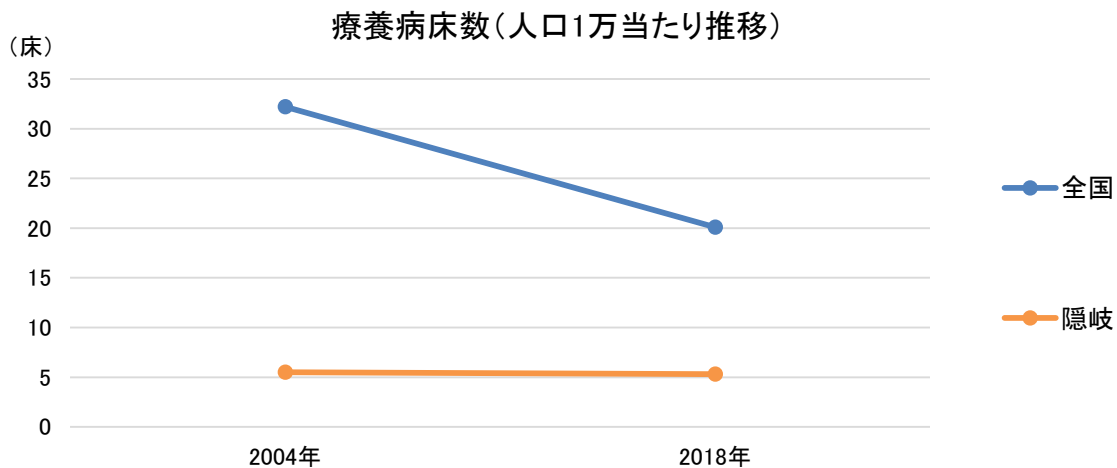
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が148床(人口1万人当たり62(全国平均84)偏差値42)であったが、2018年に111床(人口1万人当たり54(全国平均77)偏差値41)と、37床の減少、率にして25%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



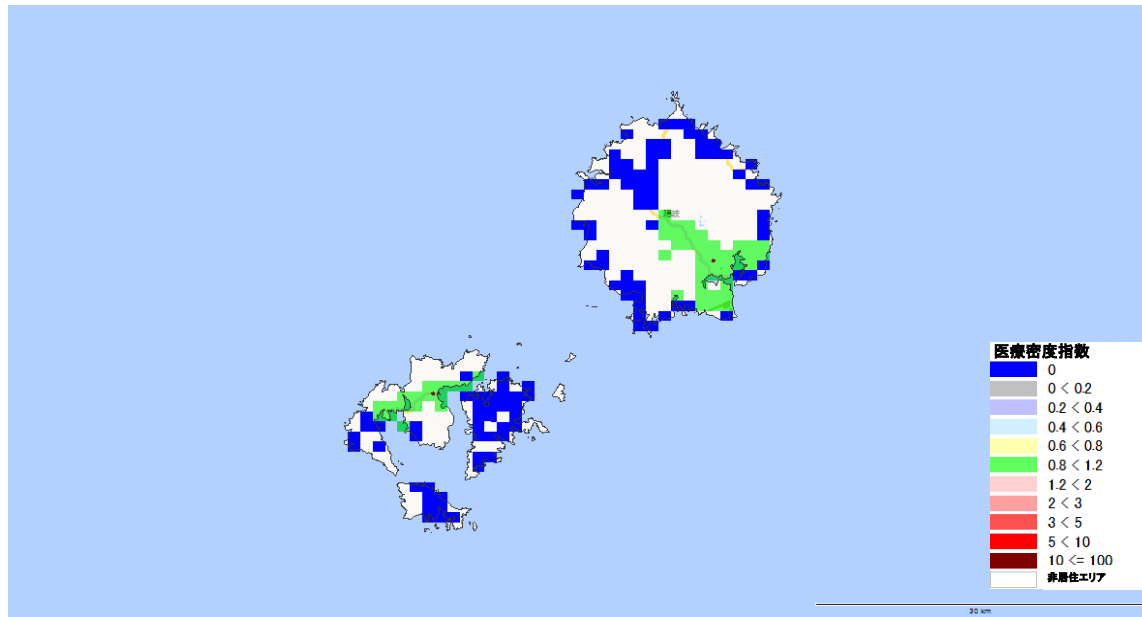
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が24床(75歳以上1,000人当たり5(全国平均32)偏差値35)であったが、2018年に24床(75歳以上1,000人当たり5(全国平均20)偏差値37)と、増減がなかった(全国平均12%の減少)。



(隠岐医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表32-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表32-7-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

